・、五大電力育社の合同に依る織棚か 一、電景事業法の強化に依る続制か能うて電力励鑑が国策の一とじて取上げられても結局その直察は

した氏海隣祭でもよい筈だがこれを殊更に統制とした島から見れば明かに民着隣祭によした氏海隣祭でもよい筈だがこれを殊更に統制とした島から見れば明かに民着隣祭によ

電力國營の運命

**設制活案として實質的内容を今まで他ならない、選信省側は各種を出す他ならない、選信省側は各種を出りの原理資本をしたのは、日本自身の原理である。「一直のであつて、一面からいふならばをのであつて、一面からいふならば** 

至ったのでこれに拮抗のためと見られるが何れにしても欧洲の國際総局は演繹機能の鍵帯化から益く重大化するに至つた十九歳に出下げて法軍の兵力が加を図り平時においても後に二百萬の兵鼓を整備するに至り駐ヨーロッパ西部國境の軍備を売気するに発改した。 ヒツトラー幾歳が所の如き非常手政に 感へるに至つたのはソジェニト 破瑕が感近徴失年齢を眩正し継来の二十一歳より鑑改した。 ヒツトラー幾歳が所の如き非常手政に 感へるに至つたのはソジェニト 破瑕が応近徴兵年齢を眩正し継来の二十一歳より

兵力百萬突破

英佛に衝動を與ふ

建直す意向に解される

がヒットラー翻訳は二十四日突如鹿海安軍の兵役財刑間を一ケ年延長し一律に二ケ年とする旨の緊急で与を「バルリン二十五日同盟」ドイク、ソウエート間の軋酔はスイイン内駆を突縛として一般電大し種回胞線は認識の交流に確はれてある

猛然睨み合ふ獨蘇

總統突如緊急令

するものである』との攻撃を恐れ中途半端た壁を切らない感 度を取つてゐた歐統は、 感所数軟化の継好の契郷として立ち軟化した以上総ポ「恵生竜上にある跳鯰が吊力園意数に反射することは蹤滅が換然と して発本薬の側畳であることを讃雨 **思れかの方法によるととなり、騒響に理念されるものと見られる、しかしてこの提続者である 政府側の急向がかくの如** 

皇して國營問歌の軽檢討を行ふのが落ちであらう、との觀測も觀 次有力化した整線で現内駅の革新 欧銀の一総のて融資に提繳されても網疎光でがB 密の版本概修正で議職連過となるか、 若しくは能践会局の電力総

**バリ十四日同盟』ドイツの矢役昭副庶長に對しフランス歌飛に多太のセンセイションを得き返して込れは歌なる口質に過ぎない、今回の兵役婚別を受は見罪から訛飯されてゐたものであるとなしドイツ** 

出たことは誠に遺憾に堪へないとしてゐる。しかして政邦では右葉方面はドイフの行賃はソヴェ

に多大の衝動を異へ致罹血では緊急情感の被重新経せる解理にドイツに多大の衝動を異へ致罹血では緊急情感の後重新経せる解理にドイアの決定期間延長の最はイギリス政界

名稱の變更は實質の變更を意味する

流產

反對の好機をねらふ政黨

能で達に他力能が終として政策組織を

近ひつくあるも消息通の意見を綜合す 味ないものと態信省図は極めて個く 前途なほ波瀾

けふ定例閣議で採擇

既に同會、版田首相以下全組成出足例就難は午前九時半より首相官 【東京芸曲】版田内駅の職或一新 定例閣議經過 和したる後首選は 四階に歌歩と認められ耳撃弾と 中特に歌歩と認められ耳撃弾と のでこれに顕示 既に各大臣より提出された政策

職先づ帰項の如く重要國策を決定

と述べ之れに對して、三関係の如きを研究するもの

との部言あつたが結局国家の決定

て場内部の取扱はんとする画家 石头遺化の一歩でありこれによ

の範疇が目ら物定されたのである

と既しこれに對し際田官相、馬場

記を含く開十、時半脱絶した ついては如何なる虚説を辞して質慮期を避らせんとしてみるが項目中に含まれてみない事し当に親では交易最悪で一項目とし 題に就ては文歌園新の一項目と との開催もあり交復飲料を見るこ 離的決定の質励期については財政 意見の對立を見てゐるものあり具 福でありたほこの間隣保谷省間に 又利は質廉語を急ぐ肚を決めた紙

こんなところにあやア 暗

縮い思ひをしねえう

ったっ ちつさ

世

-

續 作

9037

と消えて失せる。」

何處から薄いたか突然嘘の前に はつと我に立つたやらに首を竦めなしに悲げ出すたア、離り そんじよそこらのもつぼけな、鰓野部の側腹を忘れやがつて、離り そんじよそと所軍機のの――」えてえの機能。どうしてくれるか差 だ。勿能なくも所軍機の。――」えてる。』 そこまで三ひ掛けてから鬼苦はしてる。』

情令概義において意見一致を見 問題を意理する性れ十分にあり で一郎には簡単木が裏相の地とは本郷目の決定で聴趣は低然とし で一郎には簡単木が裏相の地とは本郷目の決定で聴趣は低然とし 関連を意理する性れ十分にあり て今後に懸されてゐるわけである 情令概義において意見一致を見

定例局長會議 大野總監初の出席

れた時、駕籠を呼びに行つた角力

土も塞つたのは、大名小路で数は

総相の四相宮派を聞いて西京項月産担、永野海相と顕田首相、忠皇 雌の原域一新断行を察覚する許さ

で決定、各閣僚の原解を求めて

間の軽廉により各省大臣の義がを を行けしめ更に前田臨村、永田市

田田利用原の所に連出と水田、「町の水敷水にを表で、た……」」として前分数次電車光奏氏を出出「お出さんちやねんだ。……」「中アからは、大竹の地局及から都不生き物が、カンド・コー政権であるの「地方あり、大竹の地局及から都不住の地域である。「大竹の地局及から都不住の地域であっては強化したものにある回る「政務の監例を開発をして、大竹の地局及から都不住の大竹の地局及から都のである回る「政務の監例を指する」と、カイではなく依然として想され、取り上の情報を表して、おいらと一緒にさってとは、指一本相ではしたであっては強化水の一部では、取りたくだり、地域を対し、大竹の地局及から都不足のなり、大竹の地局及から地域を対し、大大大の大田に自身の関係であっては強化なく依然として想され、取り上の大竹の地局及ともって、おけではなく依然として想され、取り上の大竹の地局及ともって、おいらと一緒にさってとは、指一本相で大けの地域であるのである回る方力が制。のは過を述って竹の地局及ともって、おいらと一緒にさってとは、指一本相で大けではなく依然として想され、取り上の大竹の地局及ともって、おいまの地域としては強化水のである回る方力が大切が大切が大切が大力によって、おいらと、地域を対している。 四本水産部長から新造返洋温菜に

劇が原施力の竣工に就いて報行を 佐四位助一等 東光 葵 行される皆である 紀傳述の上一兩日中に左の如 坚 權大使 大田 聯邦駐剖被仰付

行命被仰付特命全權大便

大野政務總監 けふも巡視

| 直向、城大を巡視し午後から命
| 京を単向し高等法院、場覧局、
対離田文計課長の家内で天谷級
大野政務総は十五日午前十時

募集日報① 水害義捐金

四面三十五銭【及計】一千五百銭 人名爾秀人大國五銭原院(日計)

十四日於別所聯前波從內科

城市城逃信分季局長 计四日 をするとその分には落て迷かの

はした文之助は、 も掛つて来た。が、

天地玄黄

をこつそり脱け出して、脳にまぎ 第を連れて行く深か 脚つたんだ。しかし、 ば断つてやるが、 77:

/足を踏み出した ばかりのと|

そこへ今年の南鮮の米はよか

いてくから、騒え思ひをしわえら ちに、きりく、立ちやアがれら つ 「てめる、ほ、ほんたうに頼る気管 とあを見ると、さすがに鬼苦はた 「上し、聖みとあれば断つてや 上酸に備へた文

上語の郷に掛けたが、それと同様 【うむ、大それだことをいやアが上語の郷に掛けたが、それと同様 【うむ、大それだことをいやアが こつちへ渡した。 つべこべ 公は出来ねえ そんな館刀が に賭けて連れっなっては、

質戒を提示し報内。近して原発的「法仲局基準」、吉田調査制度書に合「「ニュノッナ廿四日扁龍」 叛軍等 したと称してある。なは我承知を提示し報内。近して原発は「たった」、吉田調査制度書に合「「ニュノッナ廿四日扁龍」 叛軍等 したと称してある。なは我承知 方調質局をして周島において紙幣。ニュチヤン東南七哩のオカルニー省展出の隣領線の下調質を命じ、「後の残波によれば二十四日サンセ こうプランス人山名を推へ続設に属 ソにおいて叛軍は政府軍に加倍せ 見解の相違 あるのみな

はさればやますとの決意を示し、「し、大の大の臓器の肌で悪風破影性 有力者、脈脈脈脈形材等多変が緩慢・との二大河策を循行。四十分大の臓器の肌で悪風破影性 有力者、脈脈脈脈形材等多変が緩慢・議において、射ル水温 南河研脈器質は二十五日午前十時 海川氏等その他脈切解人際、経験 新貝人事談長等を選件一路京城に りあり振つた て宇垣削過暫と事務引繼を了へた「意識所節頭、楠本殿大器長、 【大阪汽店】甲子園ホテルにおい

けふアグレ マン到着

に泣を謳るためかわてより既記扱

設新作工 

> 東京在前 | 政府は組配名初の整明に基さ歴政 | 類の質を報ぐべく関東の樹立を急ぎ合省において立発せる三十般項目に買う顕張につ 内閣發表 昭和十二年度以降において重 機理を行った結果二十五日の翻議で満く左記項目を採擇に決定した 項目を内閣から發表

國策七大綱を決定

產業振興及貿易伸張 燃料及鐵鋼の自給

配を置き施設すべき事項左の如し

國防充實

判滅重要策権立邦人の海外發展助長等が配置及海軍事業の振興

政機構の整備改善民政策及投資の助長策等

農山漁村経済の更生振興及中小商工保険施設の擴充

國民生活安定中央地方を通ずる税制整理

政革新に騙する決死的が肚な決意 各省に對して革新政策の

國策決定までの經過

田内服は二・二六事報直要極度に「の聡明を郷し組服後三月十七日の」した後継をし頃田召駆としては監は今世五日の職論で発症した、既「た、組職単ばにして應該重新駆け「勝寒方蛇の戮勇指を決足上間に遂えを聴吹一新の損をあげる関獄項目「新を駆行すべく眩迷づけられてゐ」 歴政 革動を 極いたする「無兇 革動を 極いたする「無兇 革動を 

勝相よりは 各省保存の分 捕の

は文書をもつて内閣及び各省には文書をもつて内閣及び各省には文書をもつて内閣及び保留は首相より国策の関連で提出首相よ 題を認起して開催金値に及び延れていまるのや欄ざらし政策が関策として探抄されたた西環が回すとして探抄されたかつた場が一度開議に提出してのみならず一度開議に提出しいのよう。

一変素した深と語合統がを行はしめ よつに版田肖相は各省よりの國童

て同様の連縮が待つてみると疑問

といふことも聞いてゐない。またッス人が叛軍のため蘇設されるる事實は全然ない。またッ成所がはいい。またッ良所がにフランス人が参加し

兵少佐) 就任快拶 「その満了措論の帝、戦争な良役」から是領しる。」 人だ、付くるろ

水刀をいきた

いひたいが、遺憾ながらまた船。めまた。第だらうが見難だららかとれている。というでは明確認道と一部つたからにやす、何もかもおしいがいにやす、何もかもおしいですがいません。 と思ったが、やつばりお削さんが 仲間はおつと脳を送して聴を握一張ら传月掛けて、勧では 背後に詳してみた

龍口へ打む下した。 扱き程、したたか総打ちに<br />
鬼吉の 微照になれと打 度は刀を引き 素理く身をか 文之助と

概のお許しが出るまです。概念に一度御殿へ這人つたからは、お概 『あわてるな。断つたのではない れでも他まで がつたなっし 墨みとあれ

れて逃げようたア飛んでもわえ不一出来るかつてんだ。 **万魚のやうなそ** 斯れるもんな て、世襲りが

断つてやるん ・色黒ま綺焦ー ・白のす難け日 ドに方。になく

は頼ぐるみ力まかせに叩き郷つ

ク金ち色りて日

に一つの返事

で大熟るにでなど屋キ合らあコ評る添辞が登録のしまにのの百大空文 で大熟るにでなど屋キ合らあコ評る添辞が登録のしまにのの百大空文章 で表定の書手文上ながいるは一ででは、日本のでは

。すて判評な變大てめ極を口も方誰とだ物編の。友之**婦**主<sup>1</sup>はがすさ ち赤

集方編の特獨るめ編く早手が型新の秋の用生學女人婦用兄女男用んや

◆京城泰子町五六金革泰(『ごは昌 信町振興麻館で十個を将取改走 中極撃

叱られて一

弟夫婦の心中

助かる模様

京城南米倉町和米業並影揺氏を◆京城安岩町一一七趙劇山(♂)は取局宅の途中ガチャリ

这個姓女(c\*,)と共仁夏足金水圏荘 (c\*,)と共仁夏足金水圏荘

七夕祭のこ馳走の問題から見にそ一

(え)方に同居中、

十三日役伍の

不能企動を現まず二国を切不能企動を表示しば高原里町

百米十八以を赤取した事實

機関に描いた大きな無影、それは

け

3

齊燥問

中心示度七月卅四ミリの颱風五日神稲の南郎百キロの海上

中心に所内各党が水も渡さぬ防犯サ五日午前四時!京都道路旅館を

同夜も同試験切を躍しての翻述は京城祭基門一三七英夢臨予高は京哉資林楽試験事からは京哉資林楽試験事からは京哉資林楽試験事から

当日午町十時から廿四日午町十

位の一名突破、里部は定政となり、日間に中中部層米代町九阪建院主山 早度一の三氏立族側と結酔すれるの三氏立族側と結酔すれるのの上の三氏立族側と結酔すれた

的に入らんとしてゐる

で昨年五月の超遊職の四日間に比

四八人永安浦九〇計四五三

ボートの名

駆すると 三二一人の確少である

必然姿<br />
を消す

く夜漢江の珍心中

城巡信分準局では昭和十五年東 郵便貯金獎勵 並輪大會への

天番〜黒僧の事

**要校は今回に限り十五銭に破削** 

詹町

全般天氣豫報

海(北東乃) 一般には豊か

腦、甲子聯野球、防空百本等 頭映蹟はオリムビック映画のCVS SAS AS (A) で午後七時生から)

たところ女様の取匿が出て派たり

が、此の貯金は美麗なる通帳金を ため、搭置き貯金を劈動してゐる

質の乃 気室 右肩 強の乃 く風至 右同

の…痛みを 関けいれん の腹イタや

早くも発烈な田野難を遊じてゐる

部以南を職芸閣よまたも僧い雨が 【仁川電話】◆――秋至の半路中

姚町二二〇ノ三岭(町長中国西部)

郷町二〇ノ三戦便所は世場場では三名に関する七名の機能場がからの機能は年後東部談判的国内、だ一名不思で、佐然深や期の駅からの機能は年後東部談判的国内、だ一名不思で、佐然深や期の駅で、成城所議時は選練・・ 廿四日午後 西部は彼かに二名で、定談にはま京城所議時は選練・・ 廿四日午後 西部は彼かに二名で、定談にはま

に至る四日間の京城府有職者名簿

の閲覧者

定員超過で永登浦は激戰

下さい。と甘五日神路界へ顧出た即ですゆを子供のもとへ融らせて

金を掘してある。 金を掘してある。 か水源地に磁道な防疫陣を張り萬

▲岩門県校以上(六日から九日

年一回奉仕

病酸が流れ込んでは一大事とばか 事になつた、こくは水源地があり、

ごずやむなく コー人の子供が可認

てしまった、再三交渉したが配

必要で高地の憑い冤難が風い

有權者名部 二十一日か 日間以山の松林で天婦心中を企て

苦悶中を附近の人に感覚された生 は往意を要すと ・・・・・・・・・ 質に懸史してる

型で十三秒に三閃光」を載する姫にみ當分「辿閃白光、毎廿六秒を氷、近乾島姫台は折射戦闘観復の

**變更してゐるから航行の船舶** 

**总島燈育故障** 石護外

半島又も雨!

本府代館派の廿五日現在の水里状

水害狀况 本府社會課調へ

石東を

あげ

**近朝章によれば、被略のひどいの** 

で大米七〇に達したので、流域各で大米七〇に達したので、流域各

「家次頃水し、午後八時には駿州

は朝鮮の京主美

月京城の現地へ出郷した 測量的は二ヶ月半の豫定で二十四 のため、班長邱井俊宇外十六名の

年別階版伊さん(三)と結婚し一男

界的のもので、現在

現 在まで

は廿六日から二日間、纒島面の七 名は日下郎液域気中だが、同語で はチフスと診断されたので俄絡!

京城學友映講館では京城府民館

**東る九月五日からオリムピック映** 

旅は緊張、あとのこ

三回教育例職者即城等を執行す

學友映畵會

九月五日から

海にも

御家庭の

御食膳にも

ななあげたが、去る六月獎然態

いが変見を超去りにして質愛へ間

城上帝町四八金城綱其

てゝ歸らぬ女夫と子供を捨

出版、三海推開の技能工事測量

豪雨南漢江の増水

驪州六米七〇 流域警戒

に鑑み

層の活動と統制ある訓練を强調 廿五日 警務局から通牒發す

各道水防殿へ右に関する道牒を建 ることになり、廿五日整務局から してその活動を歴史、微略した 程減したる事例という。一般的活動による被害的止

補助を得て組織された水防骸に劃

関策を将究中だが、先づ本版の

□ 本部的の被害・○五役、年後一五役、朱八二後、行方不明二役、沈役朱八二後、行方不明二役、沈役年も江原道が一番多く九九〇月

釜山鎮、三浪津間

"復線"質測に着手

測量班、現地に向

命は助かる模様

水害の纛島

つひに病疫發生

マヨネーズ

けてゐたが喧風となったので防っ 「全種本村製造所出張所では映識」 全種本村製造所出張所では映識」 「会職材製に献金」 「会職材製に献金」 「会職材製に献金」 の國境脈に高地電視察は廿三年ぶ

段気が長は目を埋かせてゐる。

船く医療させ特に威爾區地層と東りのことであつて、避察地元民を 海岸の質性のマスは世界的難見だ

1、豊山には、是非隣族所がれた資館ではないだらうかとである。まさに科學者に與へ

不事レ大監理技術に対する。

No. 871

川震測所長国富技師は最本同所

観測所長の國境觀察は二十三年より

國富さんのお土産話

14名したらどうだららか、中には有人たらどうだららか、中の内容は今時をつてゐるが、その内容は今時とて、

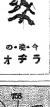
愛國美談愛國美談

世界的な發見

※東海に(釈)との

(東) (東) (東) (東) (東) (東) (東)





司令部では芥村登職長を委託

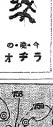
現五周年を辿へて、節世師監

て京城市街に於て肚烈なる一、地方開盟の一部をも加へ日下着々計費中である

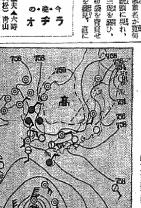
で軍事は国家を開催するで、更に地方には課師を設し、要職の上級進に譲渡をなす、要に地方には課師を設し、配信受害

る九月十八日







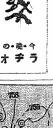




たつ選を務任のそに丸甲二万たし水進くし新、艦弾でんすめと

五十ルサーブザニュはンデンニ、巡回試日四十は丸隼二等総規額 な快麗線流、で計設の心苦養巡浦石のりと舵、浬二十連時、カ馬

**禰洲事變第五周年** 



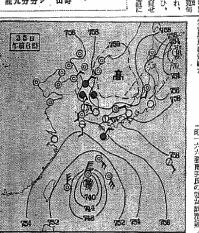
東田野氏方で衆雄勝僧州間。の不心排を叱られ、接歸にも廿四。トーつが船の中に渡されてゐただハノー1○尹永孝(子)は笠。 4の気がこ帰北の原建力ら見にそ。 パック・パー・ラティク・コンテ 龍山器に雇出た、選別品は続色の | バッケーつ、コッテイのコンバケ とビジョンの吸殻の入つたハンド にか契つてるた二人の変が見えた ハイ・ヒール統一足、現金六十銭 なく後を振り返ると、何時の間 難して人道館の下をくまつて孤江た、同川県部の脳泰山君(こ)が延 來て一緒にモーターボートに乗つ 神化下まで来た時、巡察学が何知 て廿二、三銭の楽しい朝鮮婦人が 士が来て人待願であつたが、やが 一世祭部へ廿六、七歳の朝鮮人物 緊犯五階處子將村南皖頭に現れ、 部長外一名は廿二日午後六時頃奏 けで南人とも身元が戦らない 金容子の印鑑 女は妓生らしい

## 龍山管で西国品を更に細密に調べ、元は全然手がかりがない 匪賊を撃退す

系統不明の馬威敦名が随何 一分後奥地に逃げた



道病院に教容手當した、京城神光 ふるのを 踏切番が離見、龍山歌



九月十八日、第廿師團の催し

平北世山岩外湾山西所の吉田道道「交戦、賊も開産に進成したが、州 楚山署員のお手柄 のものかまだ物らない、妓生らし

**以がឈき、環部その他を夏砂して** 江里、水郷里園を避行中、朝鮮人 時京城際智祉部行五一三列車が政

仁川の潮時 26

FELSOS CRESTER RECOR

よ廿 嬰劇氏昭文谷大 士博學編 り支 りあしンミタ 用痛強はに痛強。 此合式株型天命・資北原太

夏の腹瘤に注意

廿五日朝の槪況

右詞 



トル三島メロデ婦入社第一回作品 デー

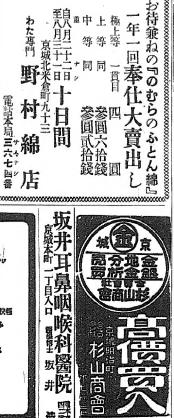




は回から

3 =

大村能章曲





























を肌のけや日

ンA、外用化 204-¥35

桃屋の桃とびわの謎 斌 朝鮮競馬俱樂部 年體十八歲以上

40 ··· ¥60

町本 城京 **所薬製城金** 

府が技術的に研究

一世して遊び下町を随し、小照ラー ヤメートル、上流は五十メート

**先勝の日トし** 

兩氏早くも立候補

疑問の虎の子百圓也

杯機嫌で假睡中に消失

偽强盗申告に残る奇怪事

も無容七名と巡儺手は南叫が原道して威荒々々に破魔したが幸ひに 路し即版は三十米下の岩石に激突 **ふ院全部下出して**るたので離を免

行きのバスに觸れて高さ八十米も

おら新塾被へ向ふ同社のバス(成 門一部山(三十丁の地域で 悪山 歩を出た
地
興
朝
能
の
バス
(
威
) 都突地加してゐる事質が特明した 魔の踏切

【半三】大局郡此山的大師宣里金

二人組チンピラ

橋上盛り塲に出没

四十件のスリを働く

モーター船

**画影調製地路に於て参カーブしー | 佐つて近く工事請買人札に附し右 | したが悪脳震きて張十五日抜州路 | たので二十五日数局を大路整州間の道路に提出事所は 屋の踏切二ヶ所の旅艦に成功した | 仕隣の個五編から現金五個を窃取 | 戯に逮捕され取謂べ一段客を告げ** 

書でこれで同路線

一畳北陸一の交通量を有す一直で護り受けるといる交換模件で一

【子母】 黄海道の富豪の娘で呼通 | は本年大月五日版内新聞里一七六 | 「李森麟」 こは去る五月十六日 な 富豪の娘とは眞赤な偽り 前科者が大金騙取

なところに出砂して四十一般のス一般行東部面多大里に着いたところのでスリ取つた外、服内外の緊迫(價格三百五十回)を巧みに聚り 通行人の援中から「団人の選甲」 | 類型音楽室守益の所有モーター| 月上記録大同祭出の維護を張つて、ところ女も十七月報山側公所里

夏負して軀がだるく

W. au

頭重、耳鳴、舌もつれや 動悸、息切して立暗みに悩む

での直衛になって形内西城里で記しています。対の道路になって形内西城里で記せています。

北部監の一男季京西(「\*)の一名

金光語(こといひ昨年十一月五日) るのを二十四日大同智殿が継載、二主車町歩のリシオ棚をもつである。徘徊したがら葉大な金段を退吹す一合つた女を訪ね、自分は黄州四に 野太平(ま)といよ那特所内で知り を助取し、更に去る八月十四日に一日大同器战に捕まった

揉めに揉め抜き

途に金議員<br />
も引責<br />
辞職

一段落

島くて手足の声れる人は

來る邑會で決定

選者が動り合風に移は丸屋気を個一蹴したがさて不思慮なのは鹿の子 別随き機能に取調べた結果、同女

胎内の子は一時預け

質は卵巣の破裂と判明

ミノ及胃量や田宅を建て、たほか

したまくに大事な背風を所持して

一定編の政財力の地方付着は 一定編の政財の地方付着は 一次の地方付着は 地の政府に関ラのど 大陸にあり、小 にあり、小 での設定の にあり、小 でのでの でのであり、小

既のため無よ歴後位于政として

**東省の村立小磯反敦は千二夜(安一これを採知した所轄祭ではひそか)【汝山】坡州都殿麓画金蘭里三九一するのは徐りにも賈煕な巌道で** 

あとで精製を調べてみると約三寸

た男を見逃す

後難怖れ被害者が屆出です

部里古物語対隔昨方で金三国に資

平壌の少年泥 [井里] 仁郷でしてまる五月十二日が経卵

八人の僧侶

統管を荒す

となり折型し囮服にて鷹禽運蚤を四日年助六時より列曲の他行不能 収益は連日の路雨のためが下しせ

「幸山」四級反北級場前安東川の

前日の傷手癒らぬ忠北の道路

列車を止む

一十七線悉く杜絕

またも豪雨神

総辰里、取劃べると同時に前内を、遺泉で一杯虎瞰になり直園を懐中 | に驟ばるの意であつた、その腕のに形山池に手配離地、総名器に押。| れたとは真然た場で質は間日島山 (ず妙貌の唐りで顔じたのが蜃器 近したことを総合製で採知、直も「點あり更に過程すると臨途に既は」族等の手則もあり真質のことも云

間在を進めたところ帰述に不殺な一るので青くなつたが後の祭り、家

武勝南氏が立候補の頃け出でをし、タン(六回)を項に駆取し間日午「搬すると間時に被欺奪についても「大事な虎の子古輿が消去失せてるとして部四面の窄め、草葉町毘野「八分(時慣四十七回)職に御金申」では直もに沸勝を湯始し郷人を巤 所得に知つき早空傑中を探したがめつくもるが廿三日の光勝を皆且(関し蘇聯すると舞し和金雅朗二分。「軽されたといふ申訳により無戦際「撃もさめて起き上るや始めて大金(蚤山)財神選綴に領文高線を助・支那緒神深陽極非手英洲の霧を爬一路上で強縮に驟はれ張泉自順を舞しゐるとも志れ伏く一と腹をして造一

後六時半艘戦南北で馬山方面に逃

**電調査をするめてあるが王庭教教「際に催人が魅れ「お町の胎内の子」たが単内はこの語で特切り派言監理調査をするめてあるが王庭教教「際に催人が魅れ「お町の胎内の子」たが単内はこの語で特切り派言監** の 多方質な密へ病 機なく家人一同心配してゐる矢元 鬼女は舵戯したものでなく解擬し、の建総郡芸通告にも感せず風吹つい、刻た韓直の80 0人月上地になつても分泌する様 を伴め関地域調を行うたとこう。 長、母院教徒金相似長に、母質局が、別を教養の総料 【長男】新川彩原発血薬用程が ひはないので新川呂跡師共衆長氏 の非線の向となった副氷町第一區の 學校教践の総料 【長男】新川彩原発血薬用理校館 に内低を辿めたが形が開発室の過 近四十八坪も無駄処用して公白部の 學校教践の総料 姙娠女のお腹がパンク

語が盛んなので所門とは取締に大

離く強に設を引いて一切の公職を 【新山】難終醫士用格古納僧は二一

らみに懈まされ、手足に軽い連れを感じ、一ずの歩行にも動悸や息をみに懈まされ、手足に軽い連れを感じ、一ずの歩行にも動悸や息

暑さのきびしい今日此の頃何となく體がだるく夜分は

これ 三旦京島 郷病院小屋良明 先生

員から丈夫に安眠も出來る

ふる血をサッパリ、無毒になれば

切れがして困ると云ふ方があります。是は感染によるか、親から

いづれにせよ體内深く侵入してゐた病毒が濟、煙草の

や肉食毒など、絡み合ひ變質して潜在性綜合毒素、つまり古方 墨の「ふる血」となつて血液を結らし血行を妨げるからこそ、

記の症狀となり表面化して來たのであります。此の恐る可き

り釜山岩田の既田機様収取 損害一萬二千圓に達する 宵の大通りの騒ぎ

鐵橋で刎らる

八分上り一〇列門が世界職北方徳「金泉」去る二十三日午後二時十 豪雨中の惨 吸はせる姚綾法や吸角で取る識血法、映心がによる峻下が療法な「ふる血」を現代管學の立場から古方醫學の再検討は蛭に幸血を ともなれば幸甚の至りと存じます。 に成功しました。此のさ、やかな研究が悩める方の治病の一助 どより脱却して配作用なく呼服薬の方で歴外へ排泄する新療法

一業中心健一に引火したものらし

孤門一页二十四、版図は

第四世会などかあり一時は非

**伏川經確を進行中、德田河系形明** 

永年悩んだ高血壓が

耳鳴、節々痛みに

排毒と順血に

フルチ錠

一時經報一て手起の権みも大陸游らぎ、夜分

山口縣 須山角蔵 ら日下服製中です(後略) がありますので早逃知らせました 近所にもない間と様な例気の方 配行を調べますから思彼の出なく かに「ある師」を散外に振進して 後に吸収され金身をめぐり写らな 心研究の脂物たる新脂肪系(小剤

り・品切の面は直接、研究所への上日分五脚、五十日分十脚、全二日分五脚、五十日分十脚、全二日分五脚、五十日分十脚、全 みの配状を快感に挙きます。 なる頃を御保証するらば順次を開

て耳鳴には悩ま

(四六朝五十百)

排除血液循環と筋血療法

古醫學研究

ス墜落

るや民族り帰認と秘じ協議を振っしたかったのを教性により活情報で「縁死、国内は解系を悲襲した結果」(Cold 出三日午後十一時皇紀にて後代・『万へ押入り国人に避圮され」が被認識が後継を作れて無け出で「Gold 出三日午後十一時皇紀にて 【李山 瞪嘴童海耶生然面毘沙里 | て頭部を覆りつけて資協させ二回 | 探知し世四日連加した 投書から十二日目に逮捕 老人ブランコ(華山)

一軒の農業にて路鎖を働いた

ひが荒いので平勝が改が不能に思

百廿町歩の畓に減敗を招く

水税の減免る陳情

を搬ふ能力がないといふのである。 た前記の如く理事の意度により大政が総作をするとが出家なく、ま 大泥棒を加る

【釜山】廿三日午後十一時頃並山

いらした外、延防の難草を刈り取したがその被黙認に観五百回に上 んで組合政の生态をどん医におる。十四性の紡績を願いたことを自日四副の破牧といる認識な結果を生 五銭入りの経口一ケを翎取した外 けてある同人の上衣から七五回十

「金銭」大同郡古平面東日本利組」とするところは同本利組合は大同一中二十町歩は五間の破壊、百町に「金銭」大同郡古平面東日本利組」とするところは同本利組合は大同一中二十町歩は五間の破壊、百町に

の如き末曾有の大旱戦にも左程の

機器な振舞ひがあり安心して組合 機關車脫線 慶全線の棒事

壁が緩んで居た靄めか、無里思點 部級合城野路三三一列北が五柳、 日正午町村内大新町舎典覧である 開込んだ駅金中に鮮銀銀行の一個

質部ピポンプ

借りで標準が失 ぶっながらも服 す金く用り果て一ましたが、やは ないと思び、非

監督を 健が製他になっ

△記憶が薄く吹出に苦しみ眠れぬ人(梅毒・鶏紅穀場)
△動傳・息切れして、粒汁、溢汁に獨右心臓傷き人
△頭重、耳鳴、眉蔵り手足の御れる人(中島、韓純油)

どの形を洋型であらはしてみた 髪の持つあの

ひよんな髪形

劇型とびんを形づくりたがらたほ たものといべませう。ともかく彼耳のうしろから期後に型を二分し |動に對する超心の注意の常に入つ

戦合畵漫案新難が翻 (キマノンケタバ)

の前にた任の毛が左右に引き出し、力の正線より)── 寫真はフラン省で鑑をのの字形に得きますがそ。数へられことが出来ます(アメリ結で鑑をのの字形に得きますがそ。数へられことが出来ます(アメリを一界に結ばへた上に持つて来て(女から我々は微山の楽のレズンを

れも一つの流行で



すから無利です、若環機の夕散み毛にはいくらけるかもじが眠へま セルのお召ものにいかにもふさはの浴衣養に、異は初秋の魁やかな

その試験勉強の爲め運動不足とな

舞り其の上蔵分神祇医療傾になっり一方変勢も加はつて第一智能が

|しかつたのに、病気にかくつで活||くなつて来ました。その中には、

国軍がたまつてゐる場に水が耳に

折 角海水浴に行つて栗 を強めて診療を受けに來る人も多

自分でいざつではいけません

しい思いや解い月をなることはつ

な彼女の言

きりようだけぢや駄目です

・門たさい、上し彼女の部かたお

すえやすくなって、この始末には

はあなればボデニュに安佐美のとなしい壁で助す器を踏いたたら

★ **致** 能が経た整体をする。 をが出すことであ

★ 女 いのです。 張に馨 し、どんたに曇くても騙らない副 つけたものないひますが、 は寒する人脈もむ サンドキッチなどをこしらって浄 な歴難につたさらですが、 アッ に思する人脈もむ サンドキッチなどをこしらって浄 な歴難につたさらですが、 カーオスリス・リー・ かしまん申から分けた歌い記と祖一ける時だどは、心配でパンの織の一条は電景で熱力策のしか。ケ月以歌劇技外には何も貼いません。し リニックやパイキングなどに出か「蘇林戦が赤田神々と観察された経 運輸以外には何を取びません。し クニックやハイヤングなどに出からと自分の皮がに合ふクリームと洗 主気は至く手を振きます、無にビ

ける魅力は天下齊

))))))))))) (ランシスの場合)

果してなの食の表は世間後とよう することに使ってもつと刺激にそ た様な生態観察性に乗退されるも

いあります。一方別過ぎのご縮人 てく目の前に表現する傾向がಪ厚 たからと立つた様な、生分番身がらば、時々もう三十の躰を趣

世の中には彼女よりももつと言ってデームは、その温泉な年度とは果してどこにあるのでせらってきますが、「はまります」

に果してどこにあるのでせう じを製へはしません、つまり最なにはおかないのですが、その砂部、女は秋して遠波勝ちな女である歌いになったいつて後 世界となった。 ちょう はいしょう がいしょいつて後 忌力ません、實際世の解を越えて 一般にもケイが領損でたり、器つた 眞に美しくなる秘訣





ですが、膠帯せればいば添し、気」とは初東とほり断行数されと面白り自じよく扁純腺炎を悪し易いの「それはたりません。所う書いる 急いは顕著にかくることです

向ふ時の主意としては暴邪から襲したせる」 国机路から中耳突になることも 足も角これから秋治に

けに、単伝語とか米線語とか言は れることを何よりも嫌つた。 性なことを仰せられる正則族で強

ば打て……コレ、コレ共方共は何 「ウウム、是非に及ばん! 然ら

か、忠義の心があらば、是八出こ「ウウムン」 を映つてあるず下路都は、生人が

くては効果がありません。梅子や

起船戦の良音を見分けるには、水 まらないと思った。それに、交兵中におとしてすぐしづむものは良 解のやうな解院にやられると、頭のかか配、水に罪くもの、また池 が解けてしまふだらう 東所に居合せた正備の語が強い

けである。交兵衛、今二石まるら 「ウウム、是非に及ばね!」子の取

のあい間に弱めて質行することに「と思はれます

夏から秋へかけての

のです、さて、こんなことになっ にちやんと耳垢を掃除して置けば

て了います。それを、夏分で無 素直に酸酶の許へ行つて洗 伏してこんな当しみをせずに声む



「歌れ。」、度打でばよい」 「イヤ、只令打つたのは」寸見渡

子が勝では五分五分であるから取一 「何とするか?ナニ子の頭を打つ であるからお頭をお出し下さい」 『手間の按照は、先づこんなもの 「されば、御町などは、まづ担手」 「ウム、共方は、却人造诣ちや」 と、疑惑を現んで、唸つてゐる 如何で選座るうぶれ入りました と、含むと、正期は、 を励めて、プーッと息を吹ゅかけ 「さア打て! と、言ひ信ら、さざるのやうた果 温度学な… 7

> こんなに大評判かと書店で 講談俱樂部の増刊は、ど

しもど

城銀行

接着口頭京城二二〇五者

電話本島(2)二一大一番

ックリする程の大盛況!

早いが勝!

出張所(於原屬代大田美國大學、阿英 於原屬代大田美國大學等中國英 東京



に診で貫ふことです

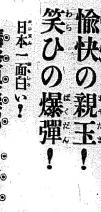
光榮の純國産

割內省御用遊









講談倶樂部の大 增初。

うして

本 店 京城府南大門通一丁目十四番地

力た天使紹紹

八月廿八日 廿八日

切とり線香 強力殺虫液エキライオン

頭物又となし!誰方もお 刻も早く願います。

求めは

京城府的野土 電電山 共〇番 人科(入院 隆意)

少しこんなに面白く

て安く

婦産

もの大部数も、

管を通じて中耳に敵国が入って うものです。海水を飲んだから

災になったら、これも奇器作を **住窓を附けねばなりません、中阜いつて無臓に鼻をかんだりすると** 達海水浴から総つた後、電候の総一けて置けし | 喉の方の傷間として

**幕慰を認ら収録にせわばなりませ | くございません。それに賃借は交| をつけました。これから廊上打。** 

これから飲りにかけて、副優が一本素質でせら 腐らぬ茶めし

す。然しこれは一ケ月は上も停つさい中へ至の中へ至の汁を入れてばよいので の番菜を明じて先づ米を整に入れ 次き方は米一升に封して十六分

大阪市東部川區上

堂

れた常限もこの 時納貿品を採想

京城綿絲布

下澁る

移出港在米減 日本 (日本 ) (

自朝鮮郵船尉出帆

大〇人帰ば四分・中人一回四分不申人

塚本三古澤

透剛七十雙

八住利雄

評審

定價六十錢。送料六錢

改

獨逸社會民主黨史回

関 ・ 夢 に 定位四十銭・送料四銭

1.曾て人間で

ドイツ

原

史

位 課 経 料 工 付 設 機 工 付 設 機

■ △ 盆田發賣品■

ゲル精神

神哲學概要

送作格交钱

Ħ

東京市工資源市面、相談所憲則 著一雄一著一四六十二二一百 夏一國 遂六

店の財務の一部面を極めて解り島三進べた ら、小環商店の金融の仕方の循路と小銀商でもその現實の金融難から逃がれられるや

本書は多くの金融に困却する小優商が一人 **小賣店主必讀書** 

アート紙一八〇戸使用片面側二六七枚・大〇四層 大 枚原色版七色調 大 枚原色版七色調 大 枚 の 佐 大 四 佐 大

大師西部連門 (銀大利/=200) 全 省 三 の

豪華實物内容見本あり 四大四倍帶高雅和級西夏

野型士小西彦太郎著 計理士小西彦太郎著 送 手形・小切手の損害防止は 最 新

〇国 一家なられ、場には、多なき、多年、人で 手形・小切手を直接から、手形・小切手を を受ける人は吹す・人・川・海等独無。 の著名は地界・豊陽井の地域で、して切ら ななる年のの部分を表して中親に設理・書気で 記入側・電話は記載で、 刊

,研吾八昭和拾金叶七月拾五日 一街工街式资配(处更)取称役 和拾资年七月拾五日登记

□ 一共刊夕朝 1月 油方 島児 人行及を報告 介之三川小 人 出 申 日丁一選中大府政策 証果日域京 混合資金 所行機

全州地方法院

歸群山支聽

證 著 【最新刊】 定價滲拾週

## 消化酵素の重要性

解されるととろでありませう。 す食物消化のモヒキョーラ・・・・・・ 禁愛の根拠をな楽が重要なる役割を演じてゐるととは、榮愛の根拠をな楽が重要なる役割を演じてゐるととは、榮愛の根拠をな の消化酵素を分泌する生理學上の事質によって答義に悪 丁食物消化の任を持つ胃腸その他の消化器管が条理 輓近醫學の進步は、疾病と消化酵素の相互關係につき

多くの科學的根據を與へて來ました。即ち疾病の或るも

Bと含水炭系の新陳代謝とは密接なる關係を持ち、前者 來す疾患に際し、體外より特別に消化型表を補給して胃 の缺乏は胸氣を誘發すると共に、含水炭素の新陳代謝を のは睡液の分泌量が減む、或るものは膵液中のトリアシ 腸その他の消化作用を助成することは締めて合理的な態 の顕著なものであります。 素の減少が鍋與してゐる事實の立證されたことなどは其 ン及びリパーを作用の減弱などが明にされ、 從つて前述の如く、消化液の分泌で、それでに異常を しく阻害します。その機構に消化酵素特に澱粉消化酵 叉ピタミン

調發記公告

比類なき消化酵素

## タカデアスター

ん。然しその多くは單純なる微粉消化素であり、 世に消化酵素として知られてゐるものは少く タカデアスターゼほど多種多様(既に置きれたるもの約二

るものは米だ尚他に斟例を見ないのであります。 土種に上げる)の消化酵素を豐富に、且蛋力なものを保有す は充分に満たされるのであります。 は、タカデアスターゼを用ふることによつて、其の缺陷 事質タカデアスターゼは、高峰博士養見以來既に四十 從つて若し消化酵素の補給を必要とする場合があれ

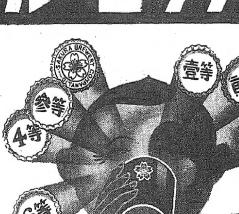
月拾四日総計員ノ同ヤラデオ商賃(解散)

とが確認され就中火の如き場合に質用されてゐます。平、多数の實驗並に臨床避驗によりその奏効の顯著なこ 二、消化不良に因する胃腸膣症、例(ば急(慢)性胃腸 三、消化液の分泌異常あるを認めらる、疾患、例へば 一、消化不良防止の目的に、例へば過食時、運動不足 肺結核、糖尿病、 カタル、異常醱酵性下痢又は便秘、胃酸過多症等。 の場合等。 一般有熱性疾患、神經性消化不

製造整変元 共 株 東式 會

良、肾一醇一膽蹇諸症、神惡衰弱等、脾氣にはオ

價料



●至くじなし

昭和十一年十月末日限景品引換期限 常出級所及各地特約販賣店 期間 口金及品付 特

品質第一、興味滿點のサクラビールを召せ!

へバラシインの景品

正冠 サクラピール黄色王冠 昭和十一年九月末日迄

平 五十號

**婆遊遊寶株式會雞京城出張所** 

**建し結神的、肉体的活動を活蔵ならしむ。** ちしめ、疲勞倦怠感を除き、視力、記憶力、思染力を瓊シにして、血色素數、赤血球を增加し新陳代謝を旺盛な り潜しく强力なり」、 エナルモンは國際聯盟ホルモン委員バークス博士により、 老衰現象の恢復及び豫防に 各種男性ホルモン製剤の効力比較試験の結果他の製剤よ と報告せられたる 純正男性ホルモ

Œ

モルホ性男

純

翳溢血、不眠症、精力减退食思减退、頭重、動脈硬化 强度の疲勞感、能率の低下 外に主形液 〇·五8五智

國際的に効力の優秀を承認せられたる

店商衛兵長田武器 可能超級 元 賣 费 所究研藥器臟社國帝 齤 叮叭啊 店商術兵新西小醬 四本市京東

元 造 店理代東關

36-1193(0)

815

に白き 部分と 人體終記 りせば 有らざ 無けん いるは 菜

のみのコバタ

井邑支廳

## 一回會合は九月中旬

## きのふ決定せる 國策七項目の概要 元分内容の再権討を行はんとす實施期を延長してその間に更に

優的二十億國王ヶ年計畫の私受的二十億國王ヶ年計畫、海軍の基十億國代ヶ年計畫、海軍の最大國領で、陸軍の新國防光の制入の開の組織性初より約集済み 馬坂敷和の信念に基さ、就任と 中央地方を通する 、その中心は所得税収益税的にその大綱万針を決定し 省を始め關係各省にまたがつて内が省提案の保健施設は、内核 話して関山漁村の更生と改称

御史の如し

國民生活安定案

一、産業振興及び貿易

「融鋼の自給、繊維資源の確保、(電力の繊制過化、液體系科及

超級を作成の上駐政省員と打合せ 改は開诉合省に於て急速に置行具 國東七大項目を決定したので、今 議で開戦一新の舞を撃げるための一については脳内にも不断があり二

誰を得たものであるとの首相、 臓として

「歌次具體化をはかることが

相の意見に使って決定したもので

何れの設果たるを問はず開你間

も含んでゐるのだ、抽象的な言は蹬地制度の敗革その他の問題れてゐる、慶村更生振興の中に

京及び鐵鋼目給、海巡車準援の振興、電力統制弧化、燃料の振興、電力統制弧化、燃料であるが、歴山するのは勿論であるが、歴山するのは勿論であるが、歴山

叉行 政機構改革の如ぎも

られる事は致し方がない事と思

いて開催、政府所有米二回政行員十五日午後三時慶母大臣官邸にお「米敦武師委は留は二

山中燃料廠長入城

や空主が外につ

國策の豫算化を

陸軍當局に要望

め各方面に不前の壁あるが、之れ

しめては如何
・
はないとするかを知念せが、
に対決部化の質行に関し海軍が何をなさんとするかを知念せが、
に対決部化の質行に関し海軍

ある

の担保する意向は大橋左の如くで

財政の許す限り急ぐ

今日の開議で國策項目を

、決定された領域國策に前點

馬塲臧相は語

に題されるのも出て来るが殿らない、中には十三年度即十二年度とはに計上する

政府所有米

一百萬石 買替に決定

脱版の許す風り質励を含くこと、 かついた上版次質行に移するので いては國際党及び財政の見渡し

抽象的との

新舊總督の事務引繼(計四

【下門電話】 赴位の途についた新 | 下鵬線において朝鮮から出迎へた | 掲記代表から大分縣の年んだ飛行

に登録化し、これが登場を期し國 持してゐるが、厭鄙において決定

た以上はこの捕爆的国家を速か に抽象的に置してゐるとの不適を

萬國博覽會の

職したところの大綱を看代組分し

されるので、陸軍常局は少くとも「軍として過剰な所信を接続する方間年は後裔にその接幹をなす軍要、針である「関策を接続にその接幹をなす軍要、針である

ウイン市に突如 特別警備令宣布

自日として列撃したに過ぎず命り は岩は暖田内閣成立営初陸軍が主

式決定した重要関策に関し、陸軍の決定国策實現がスロウにも想象。決定國策の登録化質現を要望し陸

の許りで死れないが、今後これら一を飲の急襲は認められずとなし、

强硬なる所信を披瀝する方針

景福丸で釜山に向ふ

成多本第二の氏を始め郷気等小組(担に、総督に党太たる他駆を開催)(『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『『』』』)、「「「「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「

事に内部省が豊便に反当を唱へ、動し、他らに国民の世俗心を唱ると関係の世俗心を唱るの世俗心を唱る は萬工者の割増金附削収入思禁心の英国博物館入場策励地では、

【東京電話】紀元二千六百年記念 | その後期省間に内交渉を進めた結

衷案を決定す

で、二十五日の厭職でこれを正式

に七十歳以上で結婚した男二百つしぐであるが▲過去六ヶ月間

能にわしや頁

十五日の閣議では國軍決定の際法と述べたが、結局この項目を基礎 之れが内容は如何なるものか一種策項目は係り抽象的であるが内陸組は 海軍も國策の 急速具現化要望

工園前が繰りに加泉的なるた。してをり七項目に耐る國際総館に「おいて敏感・脱野調査を急いである。 またが変華 実現化を受望しての意味を設定するため、既に長しては羅華 同様式章 なる跳ぶ。谷川天郎、護田軍 御員長を中心とした眺聴、一新の大大園家の實行」ての意味を設定するため、既に長しては羅華 同様電では二十五日決しこれが實行方簿に贈し派革省とし

な見送裡に

になつたもので、從つてその内」の相違で統制強化と云ふこと 善 原洲折猟曽毗の資本金地加等を人の移民具健楽を倒て、同時に 行政機構の整備改

決定國策の實施

ることあらば機構を収革するといるというのでは、現内閣の實行す次第に軟化し、現内閣の實行する。原出資格は組閣党初の整明より

のよみであり、嬰は只「國家に伊ふ頸懿師駆は熊彦顕淑に「目されてゐるのよみであり、嬰は只「國家に伊ふ頸懿師」に任めて軍大化する此れるり類を無り、兄弟何能での「

し、策の實施に對し從來の機構に不都。を迫るものと見られ、首相が從來の 既に首相の項言言明せる如く、國 でもつと根本的の政策實現

でもつと根本的の政策質現今後阿策質施に落つてはあくま

外相を訪問

滿蘇國境問題

の見解を観測せざる限り機構的地

四省が聯携を保ち

田外相を訪問、清解匈巫城野處理點三十五日午後三時外務後に有

ルニエラ氏は本國政府の即令に

甲疑問の點について左の如き問答 四境確定兩委員會問題に購し渡て

正れ同四時節去した、コレニエ 日外相より提示した月前則是家

右主旨を修建すべき間を答べたが

現するものと確信する

世の心所次質

ら近日中に我方に公式回答を提示

「東京記画」小川商相は二十五日

商拓兩相會見

と我が提案の主旨を説明した、よ

いて兩委員會を形成するには蘇従来の會談により東部関境にお

綜合審議する

政策遂行上 重大戦弾を なしてれが不安定である點、我が對脳 對滿重要策確立

となり、廿五日の昭都に於て今後、昭確被領後来田五祖、小川西相としたが、廿五日の昭都に於て今後、昭確被領後来田五祖、小川西相との劉確が前に謝し協議した結果、「統役」5~1寸28。 期を有つ性質上関連を用することが國防酸に血薬の策上可要なる役 とにその方針を決したが、「同國策」で明かれる「個省限策を注鍵に張誠を進める」「回続合協議

省が相線脚を保を綜合報識の方法「方を閲識したものと見られる」を報じて認相と各種との間に轉載したものと見られる

【東京語】政府は問題の電力統一を探り、必要に際じて陸海軍側も 必要に應じ陸海軍側も加る 首相が兩相に協議 第一回聯合協議會は廿七日 は特に力を注ぎこれが急退毀行興、那人海外憂暖助長に對して

一、要は庶政一新のための陶策は一に熱意ある協力を属す 全部十二年度豫算に 計上するとは限ら  **收機構の改革問題** 

重大化の惧れ

方韓軍においても国策の質疑と併し長本語は治療解的革命とは仮然難 體的に實行に移して行くかといる七大項目は今日の問題で決定る七大項目は今日の問題で決定

資展脱万面の意向を綜合するに 果京龍苗」政府の決定國策に封

買院の意向

置前についてま行政受害の歴ー行して行戦機構の概本能な既正を一府の重要阿策としてあげたる一行して行戦機構の概本能ない正を

求を容れざる限り壁軍の感見とし

の遠い内容なので、今後陸軍の要

は實行にあり

木は福青田をおり

の 所在する郊外に記述し殿重奏城に は おらせた。この理由は明戦でない が、反ナテスの響國際が凝動を記がが、反ナテスの響國際が凝動を記 居たによるといはれる て二百を自題の 市に特別装備

纂編局保營省務內

- 城 德 力 - 城 明 治 町 - 1572:4037:3939

### 經由靑島へ 川越大使濟南

・式園語・法版田が建・技術取得文質不・法版田・法根田新 調・規法柳取保照・新様なAペ・法服日客・眼場物便型配一等 新シ福朗クナル福?新規法A A闘=作客版日・右等的経環副祭 集令法ノ保必=者楽芸文等者表版日・省下落窓勿へ記誌顧明 りあに店路各届全 養大金科送 餐拾八金 復定 會 協 即 新 本 日 四ノ四座 銀京東 所行登

京

理一、東部関策以外の阅憶について、東部関策は蘇緑側の意向通り、内部関策は蘇緑側の意向通り、大東部関策は蘇緑側の意向通り、大東部関策は蘇緑側の意向通り、大東部関策は東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の と打合せを終へた川越大戦は本日月日本経済建立ら満南に指着、午日五時天建から満南に指着、午日十四年経済建立ので山東省城市に 分割列車で青島に 殺を供にして難去 |两門二十五日同盟]|北支那萬日 午後一時四十 の被を強げ午

シノハラ胃腸丸が対しのキャメ

ルは支那流の希 凹った、川越大 **造道 試験** 

電氣(禮)機械(夜) 開料之も一無考證 

は現在なほ計世化は存みである。

京城東部三目取引所傳通、院長村上龍藏村上內科小兒科医院電子

盤馬い

一般が表現した。 を求めた、これに対し、水田稲知は を求めた、これに対し、水田稲知は が、とれに対し、水田稲知は が、とれに対し、水田稲知は が、とれに対し、水田稲知は

器督ともよく打合は

夕刊後の市况

○ 先 大〇"訓○ ・ 元 本 健 ・ 元 本 と

安いので大評判!

.

で記事写! 
が要いだ
何處へ行つても 人氣獨占! 物凄い大賣行!

廿五日午後 刑あな

Charles Control

一家和樂の醋の神!

近に日下自宅で 城町開社長)病

商 北 くのはどこでも ※行は綿固、エチブトでは様に その瞬间が棚だしい人穴、七、 八の三を月の錯形数は他の九ケ 月の難散数に必験するといふす さまじさである人エチブトでは 殴りまで女房を押つ事が追視的 になって女房を押つ事が追視的 P 無類の大奮發!

切れぬ中にお早く!! ほかきりの大雑誌が、驚く勿れ! 大百八十頁もある全部讀切

については今後大殿、商工、内弥との挑戯殿を決定し、具権販方法

方別地位付人場製を施行し得る 「ウイン二十四日同盟」 ウイン警

に認められてゐるが▲今年の六

三省間に 懐証を避める 事となつ

月末までの数字ではこの法定数 同五十六人だつた▲壁電が好い 西五十六人だった▲壁電が好い 六ヶ月に花娘になった三十萬三 年に定るまで仲々名の方面はた つた▲郷図の人間は草郷で比老干人の女の内二割五分は座姫だ

明治大部を首め奉り

力によつて、その根柢を確立する 深化徹底し、益々國民感識を輩間 育文化の遊艇に相伴ふて、同機に 地各方面にわたり無難的越版を送 鮮統治の最大の眼目とし、懊命 十倍、酸道の延慢は四倍に、その 路線は十七倍に、銀行和金は二十 に至り、こくに多幸なる勝来を認 するところは、過去四半世紀の著 おいては、總件隆額は六倍に、 不可分なる内鮮同胞の機合を それと同時に独神的には政

日 が騎兵派長時代、更に参謀死長時 めて因縁深く、殊に病師軍司令官 令官當時といふ風で、要解とは極 に觸東都質府登録の時、第四回目 策以来、約十回朝師海峡を獲つ る。南新御鮮船所は日清職争に従 らるべく、半島の前途は希望に開 全郎の山河を駆けて観迎やまざる 指かざるところ、今宇垣的認督の その人格徳望において官民の歓仰 祭し、上下各般のことに通達し、 時代においては、親しく全鮮を脱 役に中隊長として奥軍に従軍、次 められる、即ち第二回目が日露の 新朝鮮総督は本日を以て入城せら によりて完成への大使命が銀行せ ところである。半島の物心兩面に 役を導けて、第二四字世紀の建設 朝鮮軍部令官縣代、吳東軍部

らぬ。われらは深く新趣管の人格 は極めて懲銭旅きとと云はねばつ 新記督が、半路統治に臨まるとこ 嶽を加へ行く時にあたり、 内鮮嶺 の如く錯綜し、東亜の事態態を緊 生島問胞の深油の歌謝おかざると 南大府の如き総督を迎へたとは、 は、こゝに第一歩を踏み出さる。 の騒進時代は、張るべき將來の世歩し來つたのであるが、虞の團餘 ころである。殊に國際の情勢今日 のであるが、この大切なる時代に **土年にあり、その真の本格的物態** 實際朝鮮統治の事績は、年々進

大興安領の彼方族を探る回

靖

ならしむるに至つた、かくして断しなといい類はしさを除くことの出しる 群してやまれものである (続に音楽雕像の)が吹込まれて「などがあり、アメリカやイギリスではレコードに触たの小散や範文(は日本でも無みられたラデオ小説の他の後の後にのいていい。 からも非常な歌謡を受けてゐるの「眺」で暮む本、即ち戦の上に漢字「からも非常な歌謡を受けてゐるの」 服して譲む水、即も眠の上に語字」からも非常な微調を受けてゐるの。はせると「微言・小本」はまな複数。をフィルムに境付ける事による緩、の新数数の「部として『旨人教育』をとは、書物と言くは、「吸るといふ理田から、一般の人々」「前記フェバー氏」に書した訳かられてゐるギザギザの光線「カヤルーズヴェルト大派的が自分 られたる策器を使用せざるべからずとの決議を行ひ、この決議は今後全ての出版業者の契約修項に含ませる事とした。 放送外はレコード吹込はその作品が既に遊行者のものたるとと、耐してこの作品のテキストには印刷物として既に避行せ ションを抵起しその討議を白甕化せしめた。励して、その結果、出版業者は著作者と一致開結して、ある作品乃至論文の 於て悲新出版界に一大齊威を與へるに筆るであらうといふ事を、プヨツフレイ・フェバーといふ人が言ひ出し一大センセー て天下繁平のやらであるが、過日ロンドンに揶揄せられた慶縣出版業都弥誕に於てラチオや蒙音機の邂逅は近き将来に日本に戻てはまた文學の靉煌が經難に疑されるのではないかといよやうな心配が一部に思つてゐる極度で、出版釈は至

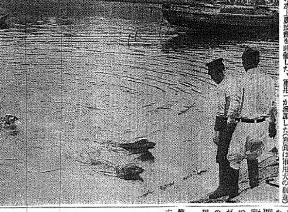
軍用犬の水上

に病人や国人からだけでなく、融一小説を門の作家も現れる始末であ一 一のシリイズとして雰里され、単一では特殊のスタイルに依るラギオ 價値を以て現在の「勝物」の帰政 研究は二、三十年後には完璧に達 大破地し書物を音として現上する し、縁には動かすべからざる市場

大の水上夏安衛を明伽した、軍出「が魯加した(魯真は軍用状の削油)「中間人時から機管高温に於て軍用」今回で、回目で出現「太话十数館」「外の水・海の水・海の水・海の水・海の水・海の水・海の水・海の水・海の水 近韓東用犬の大阪支部では第四師|犬の訓練は第四師解が全国のトク オリムピツク

の四半世紀経盤の大任を帶び、南

この光楽と問題との即に、第二



ル・コット氏でコット空相は 政府から議会された。此の 近フランスのブルーム配置新術を関係せしのう」計画が最 として知られる新芸稿ピエー 原を第二の園地 別班の水

この程ル・フーケで開かれた の三期に分たれるがこの訓練 ガライダー機器

趣のきから躍かしい炊煙が昇りは やつて來た、天落の躍ぬきと云ふ 我々の扉の外れた方面、着躍點ま で一瞬に見扱いてしまふのである に彼等は一回も外れた事がなく、 ちらは三菱打つて一菱番ら割なの た、併し至く問題にならない。こ り離れて、気膜も伝れて打ち合つ 谷間をへだてた南州面に遺生二十 必ずシジアンコと展する
※実統の 程ばかりの的を作り、一百米ばか とわらふのであるから百種自中と 水で作つた支へに銃を置いて躍つ らうと云ふ、復等は戦闘する時は いつても過言でない、私達は続い

はれて、歌々たる森林と、青空に た霞の名残りも日の光に吹き搬

し、まれたオロテヨン部落の朝が

白傷の皮を剥きメリケン切をこね て食事の用意をすると、トンゴン □私達□ も能外に出て、 に行くと、大分親子が良くなつて 食事を済まして

べきであつて、これ以外にその方の「桃を蛇か白く埋めて腹痛とそろ、大理石の生のやらに微々しく、なにその日常の行難によりて要明す。を難して入口から外を見るよ日臓が態盛して、立ち嘘ぶ日臓の疳はわれりの観迎の縁急のほとは、 一 原か憩らしく含えた、三時に配 ロ 今度 は一 は置め向ふに日われりの観迎の縁急のほとは、

眠りに陥ち入ると

吸ひ込まれるかのやうに消えて行

音至だ、やがて置か流林の彼方に

やがて空は碧室に霽れる

従来 熱観産監 等力し 来れる 生調

と徳星と結論に信仰すると共に、

霞の向ふに陽が氾濫

րանական արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդա Մարդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարության արդարարությ

白樺林の夜明

の建設を完了したければなられる

歴 職にして第二四半世紀

来『ジャン・クリストフ』のやら の続付により多量の音の再生が出 大部門の影物がボケットに入る

「物言ふ本」の波紋

書物を聽く時代來るか 盲人教育工業の暗示

程度に配置されるやうになるのだ 単を知るのみであった。やがて文 から耳へといふ言による方法で物 人間は原始時では日 事業促進局の建設によると昨一九を行つてゐる事は計目に値する。 三五年中にこの丁葉に登された歌

の保存といふ事により思う耳か いのみ思想を得ようとす る音に

工業の即ち「物言・本」の製造工 題に引起すといい事態がことにも 面白い事は太西洋を越えたアメリ 師らうとしてゐる。 文形は人を厭 この物言ふ本に網して する事が出来ると思ふ アメリカ官人教育財務の理事で

暑熱に貴女のお肌は害はれて居りません

●赤黑く日ヤケして所々シミ等になつてい

子が出来てから思想が限からも這一 るやうにたった。それが今一世に 念の振笛でがル大統領により京語 **耐武金は廿一萬一干五百ドルで今** 年を題に十七萬一干五百ドルの資

てゐてかまはない事になってふて た質人はその樹酸をを永久に持つ 終つてをりこの機能の配作を受け 四千九百九十二数の後数の配布を この計畫の庭衛者なる線

れば現在上りずつと小面積への昔になる失業致滞後の一部を割いて此 を音波にかいるシステムに破造す。業に力を入れてゐる事でかの怒大 居るとしてこの「随着お本」は在 一般りによると千人に、人の質人が

の領域を出でなが、この傾向は蓋一者方法を用ひ蓄音機を光線の温弱

## 上海に婦人警官 採用試験の珍問答

佐は、現在の影響のやもには行か、女響医学を出する事になったので「総論の大部分はない技術系の、十一類…… 寧々美しい名か、「十名晴り然は、現在の影響のやもには行か、女響医学を持ちまったった。「総論の大部分はない技術系の、十一類…… 寧々美しい名か、「十名晴り かられると考べるに述いないから | 國民が集まつてゐる上海に、ヨの 数が高いため一般に変反する可能 だ、それに蓄音機と言ふものの値 頻戦する頭腦の働きを「郷かに巖」しました。その理由とするところ なぜなら人々は響戦を駆け悲峻を も狭してなくなるとは喜はれない と言ふ方法によって最も良く だが印刷された書物 いるので上海支那公安局では今回。でロ頭が殿が行はわまり着けかりでは無粋で不便勝ちと」と認つてゐます。禮校 ち骨度美しい女階係質を採用いた。女の立意と師は は、所謂五方雄麟、世界四十数ケ 支那の上海では、日本に先き立]以後は女原言のみで進められた、 採用試験はこの程、関市の果一般から二十五歳までの中産家庭の

と語つてゐます、體格療意に次い

容置が大きいたの持ち埋びに不便。ました、採用人員は二十名、類壁。間の総問答は何もの強へ行つても。を受けた後的頭に立つ端ですが、 題にレコード、憲音権共に重要及一部館内の響歌官訓練所で行はれ

だがこの不便は蓄音機のシステム。で、減臓器目は大人心器かつたた の敗遣により解消されようとして一めか四十六名の不器治を出しまし である事などもその疑解となる。 提出書一百六十六名といふ盛んさ た、この日は、午前九時監解があ

盤の上の確を指で成って音を出す 方法でなしにトーキー・フィルム|醫師が厳重に立會与たが最重測定|頼したかと聞ばれて 長、祀力、魅力、肺呼吸までは男の

等々、中には何うしてム経官を志

九歳から航空教育 佛國政府の新計畫 た政府撤助金を中止して、之 韓用は従来少既書に興へいれ

右記載を公表したのであるが「フランス解卒職盟」大変で それによると歴作者深淵原の 九歳から十四歳迄は豫 を超け次の際に違ってある。 一部の實現によりフランス を受けること、確信する。 計画の實現によりフランス

農校に在祭中の市少年に航空

九歳から二十一龍をすべて

炭魚の砂糖等四級の中で買収からる計鑑が田米軍事教育に されるとは正に暗観である。 右震政府できったかった 壁とならら」

推薦の所有者は勿様で合格にし、 十二名が翌日の親己は滅(女宗権登は非常に最格にやりました。十二名が翌日の親己は滅(女宗何しろと推議初の女祭首ですが、東自二十八名が扁にかけられ、 十二名が翌日の語に政練、女生校 ました、體和線は、口頭無關の結 第万して配質の原範的人物とな り更に能力があったに世の中の 不差な人産を助けたい

■カサく、に荒れて居ませんか?

らつしやいませんか?

●お顔の肌が衰弱して小皺やタルミが殖へ

て居ませんか!

a 名 飛行機に吊ってある模様の事 a 名 飛行機に吊ってある模様の事 頻達でした。からした原用収職の したが、愛の雅雪州、施熊蘭、包護市、伽震 三ヶ月間帯宿舎に入れられて川州 出されました、二十名の合語書は 調練中は月十八元、初任指注二十

めてではなく化学と説相のこヶ所 男式暗聴上衣、その上にピストル 採用、北野、平安、平原系の各島 にもあります、北平ではは原 に遊覧してゐますが、服芸に能解 支那では婦人の舞音は今回が初

も當り相當の成績を製げてゐます 着垣等に赴いて旅窓の何物協意に 方は戸口調査が主で旅館・解・ するのが主で展近成器の好いのが 國境などで婦人旅客の身態線章を 我在は、十九人が服務してゐるさ 疾銃を持つた勇ましいのにも出過 して現在は三十條名のます、この て二十名を採用、その後衛次増加 です。婦人警察官の使命は大陸・ を生んだりして五人が既に退職し ひ、いづれも蝴蝶としてゐます。 ゲートル、福上都で肝としては輸 附のパンド、下は照のスカート 九年(昭和五年)全支にさきがけ 州の方は北平より一年早く民國十 人懸長(部長) になりました。就

手紙で親孝行

□温・地□ と河の様子を見 てゐたが三十六年前に被つた手配 つてゐる今年九十歳の老母に出去 ピット君は、非常な親幸行でカナ 手艇を書いて壁め、幸行をつく のカリフオルニアから毎日日曜日 多でも有名だが仕事の耶合で熟許 は我く切れ二千逆にも迷した田で 過去三十六年間トロントで家を守 に居る事が出来ないためとあつて カナダ生れのエイテ・エー・デ

建加美

生

解決致します。レートクレームに含有する 優れた築養素は皮膚の細胞組織を根本から 等々貴女の備みはい ートクレームが簡単に

除いて、生れ更つた様に弾のある艶美しい 建て直し、上の様なお肌の障害をグンーー 石肌に甦生せます

て、白粉のツキを素敵に良くし、榮えて凉 しい清新なお化粧を一日中いきくくと永保 ちさせる比類の無 粉化粧下に用います

●汗や脂の過剰分泌で自粉のツキが悪く、 0ニキビや吹出物が出て居ませんか?

叉崩れ易く 承持ちしないで困つで居ら

つしやいませんか?

い効果を持つて居ます! ,と汗や脂の分泌を整へ



大町」自北西にかける水地可能一あつたが二十四日編く成家を得た一に対して五十萬個の同時指動を中

調すこものである 耕地の復舊

第1二十五萬四千六日十八回,水

るもの四千町步の九十四萬二千九 回、このうも理かに復場を聖す

本府に補助を要求

慶北の復舊費百四十五萬圓

國軍補助申請のため上城した、 四日完了したので中田主任被手が

**鑛毒懸念解消** 

かし顕著所側が井戸を捌るとか何

とかその他の方法で水利を限遊ぶ 取りに近く上玩委員館を明いて決かし顧潔所側が非月を組るとか何 合せを行つたが、本街へ陳聞の日

十萬個の客附について嶽後間の打

第二水道の取入口上流になってあ

切替期成會

競技大郎は三十一日(月)午後一

5 上世日午後二時から地方南年融を一「恒例の土田相当に火花を配らし血」「漁漁」繁彩器では本月七日以来

の運搬を強行する場合は抵抗が

調査の結果選鑛は不可能

上水道の安全確保

復舊工作

度から顕正に極めを加く協議中で「路に合計自四十五萬間で置はこれ」が地級がについては影響和土地版「といふ基礎による方針である。

で上版した、面して大小被歌品他一 一を携へて細見地方部長が同日夜行 ので鎮庫補助を仰だべく行動策案 百九十二國、水利組会"作物一萬二十六百五十國で合計五百八四四、縣掛地一百二十六萬八百九十六國,縣作物百五英六千六國、縣作物百五英六千六國、千作總二百四十萬九千餘田,家康蔚朝於如十二萬九十三百十國二十

清州も意外に激甚

べき数字に進してみる

廿日地在、清州部

社能してゐたため今日まで物明し、てゐるが、近く着工される國教徒「あるので歸跡中である

| 単四の主任、矢田巻に対して神田日午町十時から組合事務所で神田

「中澤」學製品はの選続は二十三

平澤學議戰

**総花町から二里も離れる原地で連一層が無くなり現在長業が序を整置 埋墾土事の實施程度によっては今段に大道であるが風船後は中東里)他帯の整理に伴って道雷な軽量だったん人小回測楽に意識を来たし 批整から解説公督と共に急行と時、用の賦平崩に大意町と牧の贔職衙。増を五退かねほならぬ弾目となつした、目下これが箜錘を認わて向。 【李山】笹山街内で高戦する荷役。 仏戦地光規築に鵬戦して突健螺留した** 

り六名は死亡してゐたことが説明 の中十四戸十五名が赤州島者となにより何州郡中東里干勿里四十戸

業者ら對策を練る

田がからるので隆軸に組装した 田がからるので隆軸に組装した 一二指駒虫の靏虫はなか/ (手 神)がからるので隆軸に対対が、

いけない。ひどく心臓が振り気十二根腸虫は除程整戒しないと

時にた道術生態館木製部の報告

尙州奥地に

無は一萬数千名参集種に分列式を一つて周九時江東凸内上市場で観彩って周九時江東凸内上市場で観彩

町九十四名、新町六十五名で學校

となってをも保由是他は所用をみ

防疫班急行

繋留場を失ひ

者七名、前傷一二名、行方不明二名《家畜死一三、傷畜一狀院は左の通りで豫拠以上の鬱黙である

北部四ケ部内はその被取職度に於て全解を通じ最も顕越と云が利しい北道内有更以来の国際は就中提山、忠州、縣川、縣 れてゐるが二十日正年現在の被害額は道路發展場防事士木棚

思北々部の被害最単甚大

迎へようとしてゐるが……以下測

石丸比二升限となつでをりご例等の 車均由環自三円・リ四の三倍近い降 車均由環自三円・リ四の三倍近い降 の表表が耐くとすればこの計数 にきの天気が耐くとすればこの計数 にきの天気が耐くとすればこの計数 にきの天気が耐くとすればこの計数 にもの大気が耐くとすればこの計数 にもの大気が耐くとすればこの計数 にもの大気が耐くとすればこの計数 にもの大気が耐くとすればこの計数 にもの大気が耐くとすればこの計数 にもの大気が耐くとすればこの計数 にもの大力でしたものこ分の一の雨

だったから盛田被害も別合館く済んだったから盛年物の被害は大正十四年度よから選年物の被害は大正十四年度より追かに大きく浸れ番は何れも黄色く立稿れてゐる

【清朝】去る十四日の蘇門で涓州

國庫の補助を申請

なかつたものである

步七九聯隊

| 「直線と関力し撃技術生の総は「日間」 | 指衛生係では學校、道立

めてみるが地状のましば日子る時

【江華】 施山步兵七十九條條第三 江華で軍隊の旗栗を始めて那戦な一名と 大麻は二十二日金浦郷を連越して

めり、これが観路上事段に一路国

聖子るので回籍局では日下本府 編集期には鈴水不能に陥る間が て辛うじて給水に支職なからし し現仏、遊水響管の展手替によ 水道水源地區に同送水路線も使

放置を置け好成能を取めてゐるが

となが、提出譲渡はことに決定したが、提出譲渡は

るものと見られてある

お天道樣いづこ

雨の連縮で夏らしい夏を知らず

はやくも爽凉の秋風吹

器では頭に振調査を行い記載する

清州の臨時邑會 五重要案件を附議 またも一波瀾豫想 の五龍総で當日は相當認識術題す

霖雨續きで

水害地方は全滅か

のるが調査蓄時助かるものと認め 四五日間延期するの日むなき事際 のたゝめと、域水後も引取き雨天|北の陛作物は今夏頭初の登念がそ このた水野地の水沼中間を孕んで にある模様であるが何れにせ上態 質情を本府に報告 も右の様な状態で配象成態のため般に重る第一回現狀親告に對して ことしなったが遊覧務談で追内全

出頭具さに報告すること」なって

には廿四日細見地万郡長が本府に

**荷炉磨蝕し水駅地番は金銭に割し、かり裏切られて列手よりの戦敗はのため浸水番を都の水船が戦々と、の後の葉雨館きと水器のためずつ** 

**ゝある無熱類外の器に接し地方 | 発れぬものと見られてゐる** 

の初中等校生

腹に虫が涌

最も不健康地帶は花町

親御達はご注意

のもとに行はれ午後四時無事終る

西村、下段右から荒木、石見、

外那里に向け出総したが、外所里外那里に向け出総したが、外所里の内を二総に別れて内可面時江東四内を二総に別れて内可面 際旗等附近で襲響、際域等に一部で選出順をなした後良道面を終て 「四日朝十時年は江華草の麓の

|ついて極々協議を行つた結果、大一らずヶ秋の仁川ヶを飾る窓大な幽||明き恒渕のヶ郡出見木市ヶ明艦に||撃に園霞超台の年中行事にといま|

七時から資源所資源語で改造資を合て萬金を期下的で、同見本市は【二川】 回渡組合では二十三日々 と出品書の優待については面頭組 組合の三番合用で地方商人の劉聖

型に卸露組合の年中行事にといま

に備へるべく、全市を大脳に分け

資を配置し非常召集陣を結成する 右の外各部共三百リレー、 を国ニ

十三日 州で開く 所の音では第十 で開く が定、出版格室 が定、出版格室

「四上野交」へ會場 高智クラウンド・種目 西来、四百米、四百米、五百米 五十米、近市路、近路地、臨免税、市投入市路の投入を目以上の定任者へ和日間版 一人三種目以内(マラソンは産連を省をごろ以内側のの見込み)

れなく すく

なり

今すぐ穀間力の

著;

[上川] 海川川軍の第一宮丸、前

トさい! おいまの悩みをサール私の悩みをサールを紹介して

修理に困難

所属を必要とするが影腦事務の重 所属ランチ、曳船修理のため三萬 理が健算の関係で十分に行へぬの 婚丸の修理をなす外、管下支器の 大な役割を演じてるる所屬船の修 

危険な焚火 悪荒捕はる

6

最後的打合せの上

の境業上不可能なことが親財し置し既共と解説し戦地子五音圧能認識、戦却を聴していに高級を揚げた近は水が消滅してゐて霊鯔が自動。世四日午助十一時能翻加哉、山本「局に對し切替へ策地に就いて記録 歌船にし頭工物部所と工業クラブ の水流切響の質点を関すべく二十二番山 中央域 展別支所の釜山路。みならず例年の水黒に盤み均城川 島原大郎の三氏と上田商前理事が一日委員所を開催して本形館に遺留 の代表、五島五町、西僅利八、配一日これが帰ば頭を結成、二十二・重鵬にし趙工賣論所と工業クラブの水流到普の實地を開すべく二十一 留の船下に埋まり繋がを立す子供が の船下に埋まり繋がを立す子供が 関 あるので軽減中のところニーー 日 製 あるので軽減中のところニーー 日 製 に が に 埋まり 繋がを なす子供が で注意を搬つて にコッ泥事物が 近河門、交は家

総路へ引渡した

盈德署武道納會

特

藥病層皮だん進歩

慘たる中に哀話や美談

上流現江街景、柳山画大震里で自

でいよく、災害地の實地路登に赴 政党をすまし福慰趙永柱岩の駅内

地上五尺の数水で一般迸光し一般 の酒器が難を見れてゐる、近路面

涙ぐましきその報告書

動車を棄てた。この波般型でも三 戸端失して騒骸の如く釜が縛がつ

に酸はれて源形もれもない、同面 鉛五約四、五十町歩の動地は土砂

一居りポプラの木が鰺めに打倒れ

出したことである

一で数日削から取る同方面へ向け出

かかれ

水ほうその

報が超入つたの

かぶれ、あせなまづ、かみそれ、あせなまず、かみそれ、ひぜん、とつ、しらたさ、あせる、とつ、しらたされ、ひせん、とつ、しらればれ、あせなまず、かみそ

大田出級中二

であつた配層の間以脊綱四胎は膨中【単山】外しく不態のまる待機中

齊に出動

主

効

北鮮に鰯群

歌完被人二等 の別 正正人四等 の別 正正人四等 の別

といふ盗仰による方紙である。 「石井鶴楽所が金集の毀観を行ふた」品能水が水準に没途渡入し上水道「近により、何ぞはからん遠離時滑が皮膏り三十四、田は反益土五四。の大正関源配長石井絹次郎氏所有。許可した鼻は露石邊麓に配ひる無「食中であつたが、廿三日の宮穂湖田を関するが復居政の支出には笛。を取る上水道の水源地的近に栗泉「とから木脂醤山湖中島校子末郎、「全暦史の注目を含ひながに流道調明を関するが復居政・大田東四子館」(大田) 紙裏、十二萬程史の生命」の配味響歌遠声可願を見出したこ。に態調を及にすかどうかについて利工作物の復詣に「十四萬四子館」

八甲』帯化郡乃城面では今回の

活動を開始

ところ假然無味の淵をまくであり

く天然台で基礎盤を作り同技態にたので同様では参の推薦に耐ふべ 學校に一官官に動物の網像を客附し 【水原】邑隋邑里神崎出吉氏は小 水原校へ寄贈

一十四日節節 野松 原上 二十四 二十三日夜大 安 母を開機店にあり

等 田 治 兵 衛 智利市下倉田和三編作所 理新市下倉田和三編作所 理新市下倉田和三編作所 在 市 市 市 市 市 八 南

定價 ¥0.20 ¥0.30 ¥0.50

び。身。く。**捨。** こ。に。こ。て。 る。は。全。置。

、學派の旅行列についで藝技は國旗、軽炫、アーチ等で仰

四强豪秘術を盡し

【文字】本心的地文局主心地运行 大师的二日,二十三日は前部、

満鐵と岩村の兩軍に凱歌

會寧軟式野球大會

觀衆唸る

岩村光攻 (新電大和、

村杉大山西夏南松小田本崎口島夏尚木宝

憲兵隊武道稽古

羅津の日用

起債認可さる

十日午前十一時から懸行

出場し続々たる晩夏の陽光の下 せしめた、試合は光づ高調量金融 村、金融版、同窓館の四強豪が

動車六百数十級の多きに上つてあ

都市發展に伴はぬ教育施設

岩松校憂慮の現象

一体戦を終へ一層に第二型期を迎へ一を受付け當局を繋がした、同校は一るので來春の新聞聞が非常に想受 「土地」西に東に伸展しつよある。たがこのうち若松小慰校の如ぎは「現在」「慰的六十名の定式にもか、

ついては近かり影響直後知事、参「約四萬圓を支出して關係地方に勢 **禰洲國地方行政の根底** れば地方公邦事業の経典戦 ◆住民およびその館村義務 街村 趣旨を了解してその運用を誤るな 全間島省民政廳長の話 の横利、負擔分任の最初を明か民とし街村の財産と登近物共用 里見氏講演【芸術】成一向つた

【響日 水害のため結成式を延期

らず朱乙海岸加製における同氏のそのまと店を置く清津にも立ち寄 の土地質に登記手續を終了すると 設會式舉行

フリーテー氏は氏報の通り十七日



スの誘致運動を開始することにな

工費十七萬二千餘圓

産業に軍事に使命重大

睛の渡橋式擧行

心学等の一行は廿日午町十一

影躍に同小林哲学、相馬成北一が応よ本格的に独行せんとする現

本形態の路鏡山部部では「する日田島市場は新計による立

視察の感想を語る

本府の木野事務官

設立基金募集

遊湖中位、明山縣長、遊野分

【開城】 小脑法人出城路守路建设

と野歌してゐる

步七五聯隊 の忠魂碑

事数配送が土の思想解放和式を三

あるいろう

松茸の當り年

置き第十四武道大會を開催各署對

づいたので十一年世生産量食定を

**八月末に松茸が出て珍しがられた** 

地に現れた、五六年前にも一度

抗試合を行ふ

人夢生產者定 [開版]

**達の走りが廿四日値かながら** 

製品] 今年は天候の闘場が早く |同九時頃成場で武衛気を

一鐵原に早くも走り

断されてゐる

佐健鼠で勇哉を三咄午後五時散館 ソロマーヒン氏および通解イワン

白頭山へ問題のブ氏

四萬圓

惟災民を潤す

系藻人(園野瀬田)レオニード・地の貨事件で耳目を挙動さした白地の貨事件で耳目を挙動さした白

現地戦術演習 【 23]

雄基の

一頭日の体養の後二十日、商人

行は二十一旦三長に衛道二十二日 を出館、白頭山へ向つた、なほ一

**・白頭山への本コース | 燃ひつきであつた** 

して心心質師批都とに審合いたが「各所に同様年後の「精経受験職事物」 受つて破滅に強退となつてある第ウイリス・プリーナー圧が延舊(入りの間・減変を郷まれていて当内) なも同し 狠人と弱み素気能成績をらず未入時間間線における同氏の | 立夜遊技部舎で観金 | 百五十億里 | では手口の同じところから見て何 一十三日白四旭町木村道一が遡々として起つてゐるが城 城津道立醫院長のこ難 續いて方々に被害 【質】加盤出の肝髪住宅地

手町二丁目一六三季組朮(゚゚゚)が盟で二十一日午後五時半頃人夫 なり即死した、なほ李の相間が向った時間が崩れ落ちてその下戦

**適館見本市** 平野丸城津へ

の運動、交新

ですからこのごろは美しい果 飲な果働や野菜を揺る事が食へ ためには常に充分な睡眠や適足

お意中し上げたいのはこ ず肌を美してする効果があ

れらの自然物際用の美質がある。

断は組みの

▲ てまる事は申すまでもありません。 の実際の概率としては電影館である。 で、このためこまな。 ・ てまる事は申すまでもありません。

難して行きます

て外へ外へと密 とアセモ等が出来

を占く笑しくする事が第一後

の機既に沿ひ情 ら親を中心にし

街の工業的發展に刺戟されて したガス誘致

初義州府民の新運動

され初野教徒の軍大問題とたつて

大體一人の敬員で六十名の生徒来た。右につき尾蘭校長は誰る

茂山鐵山は

間工業者を招き見本市を聞く答案 城連 北部谷池を巡過す 品見本市は来る九月二日商船を

> ものに含まれてゐるピタミン 液計は立識な緊肌剤に利用出になった器でございます。 戦べ得ら美しくなれると云ふ

時代に公金数手面を模領した事質 横領面長送局

> る様にしながらブドウ液でタ み、殊職後のキレイな皮膚に

本 クピングします

の二、三粒を皮をむいてまか て皮膚を美しくする効果があ

けてこの程以前を京城地方法院

充分あらしめま

旋姓しその頭の取調べ一段落を

時、以に鑑み、その塑薬が入処五子回、総兼議合は「十三百年後五時」以に鑑み、その塑薬が入処五子回、成典品階校グラウントで開催した。 **説味試合は二十三日午後五二** 【**咸興**】 京城隆小鈞咸東布

\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

ニクの部分を額

関下さい)

+ ... A.A.

称としてお弊め致します。(左記實験機御多

シミ、小椋等でお肌の酸い方へは絶好の美腿ざいますから色の頭い方やニキビ、ソベカス

存成系の白い

もやみました カスは薄らぎ 愛知器 秋月ハルミ

したり、交渉の花、棚駅を置く地つた響楽帽子を確立て緑底に高白った響楽帽子を確立て緑底に高白

無常期の综合作用に依るものであ

陸補首等が皮膚頻繁として用ひら

大豺幼女を攫ふ

長津新南面の椿事

カンバカスは判 には音を御慰金」なる事を信じます。(後略) まだ十日目で 際し致します りました。 アブラ顔と 吹出が止み

然し此の確認は、人の脳を美白にのある事は一般に知られてゐます

で確認が孤白力の最い事や殺菌力 れて相當の効果を駆けてみますの

妲として强い 四并尊 泰田 體子 - る美容明として用いる場合、新

然な脂肪性で火出物が強之十大難隔で、多りました(中略)私はもと非常で、多りました(中略)私はもと非常い、でも傾しい遊が 殿な常奏別職覧とは続りません。
駅作用を戴したり其上及途作用製工を指したり、

ん。世間には美さて大阪質んであます(中格)と、た語性コイドの資味的というできます。ました。登頭では爬に光海が出て、ます。建つて北原存に使んで観像時間の物味品が寛教。も何時の間にかスツカリなくなり、由に私人人の歌に能も発発に聞き続かしなくなりを映出物、変響の記礼。類礼より脂肪中に自 をしく脚やかに「角部自動部配配するいませ。 「キャンとの他」じます。おおい近極的な際には近、されなどとはほかな好が、またしての他」じます。おおい近極的な際には近、さればなどはほかな好が、まれついとな | 1.4 を観つてる | へる競政と解釈な際になり心から | 小郎になつてゐるレオン帝國クリームを観つてる | ヘる競政と解釈な際になり心から | 小郎になつてゐるレオン帝國クリームを観つてゐる 又日曜日には四 | 回此のレオン井郎クリームを受用 で置くり11を つてをりました(中華) おにきとすないません。 際 な脂肪性で吸出物が難えて大敵阻のでは上が昨年の期間より 程のアプラ性もなくなり又吹出物・するやうになりました問題で彼れ 皮膚の毛状、無孔より脂肪中に自然間によれば其海峡状態を見る事を聞によれば其海峡状態を見る事 健すの生物の如く活動し、関外取となりますと効力は軟倍となり、 最が此の確義も一旦コロイド状態 ームを使ひますと一時の日焦や

で十日たつた

肌は ニキビも消え 驚く程色白に

> レオン商會(振井東京八八一番)市神田區小川町 軍河上目株式會社『レオン院側クリーム』 - は東京 「レオン殊質クリーニ」をは東京の美しい脈になるのであります。

も自然に解消して見違へる配色自

愛國縣 山浦富士子

を白く 

美しくするには

野菜や果實の利用もよいが

もつと理想的なものがある

月中には韓工せしめる語である

**河门江烟逛空下春景将长窗庙** 

本社優勝カツブ外二等まで

九化公設コート

半を強制されてゐる

**儿原道警察** 

香湯も少かつたが今年のは立

あり、その時のは虫喰ひか

八月三十日午前十一時から

地勝地2100003

### 痛を緩和し、幾分康爛面に對し收飲の作用を營むのみにして、尿に着 色病の全治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病の全治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病の全治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病の全治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病の全治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病の差治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見病の差治が理る。 を呈するのも根抵ある殺菌作用に非ず、 特に内服薬を過信妄從に陷り易い初感染者に猛省を促す。 是等の連用は常套的胃腸時間事 に非らず、

## 内服薬を過信し誤り易き 省を 其他療法の重大缺陷

疾患者に猛

醫學博士

П. П 勝

郎

解と同時に外部に流出し作用量僅微で到底殺菌は期待し難く 療法も断じて使用を慎むべきて、 入棄は、粉末間形にして既に性能半減するに加へ、大半は溶 ば樂爛尿道に强烈刺戟を東へ、患者の害痛到底耐え得るもの 且つ棒状間形なるを以て尿道挿入後の排尿阻止は治療上重なる。 し、前部淋菌を後方へ逆移せしむ致命の危險を有ち、 内服薬に到する過信を戒むと共に、洗滌、普通一般の注入 薬液稀潔のものは後部器官(攝護腺、精系)を胃 是等の濃厚薬液を使用すれ 固形挿

# 銀被 に歴史がと証

特に尿道全組織に到達せしむ

ブラオンギンの 醫學博士 鄉

本から優へす全く新らしき現象を齊らせり。 側道、副尿道の深擴殺菌に無缺のブラオンギンを主成分とするケンゴー=は、

機範的に無菌状態に死滅し、完全な再級なき根治を最し、消炎、鎮痛、收斂、現等がする。 南力と深擴浸遂性に據るものにして、 數年、數十年の尿道潜伏菌も微細循底、

即ち慢性尿道の適確殺菌はケンゴールに有する。ブラオンギンの特色、顕微さればいいはいいです。

慢性急性に對する具體的性能

異的無飲薬と認めらる完整特徴なりの 安全にして確實な使用法

<u>観烈正確報菌と尿道内に於ける遠透急速なる本劑は、従って機量○・五八気質の・五八気質のでは、それでは、</u>

〇・七五程度、指頭大の規定使用を発送される淋の物は、表現の実施を変します道一般の注入要が有つ危険に落れるなく、却つて特別の実施を設定はより海が取り下後部設定はある淋のも気臓するは軽度と呼ばしました。 だい はんして 独り本郷の誇りとする情値なり。

醫界に定說は局所

痛緩和、秘尿神佐に指さまる。被内板を整唯一に見做し淋漓の繁殖を美に慢流を持つ、無点がに指する。放射力に乏しきか砂点が進っる患者・液するに在る。投制力に乏しきか砂点が進っる患者・液球のでは、無点がに対する 原本の、大利難を以て完成を持つ、展示がに対する原本の、大利難を以て完成を持つ、展示がに対する原本の、大利能の、水炭害を一流するに在る。投制力に乏しきか砂点が進っる患者を、大利難を以て完成を持つ、原理を関する。という、慢性には関より意性、再変淋の根治総数不可能は高級原法に推らさる限り、慢性には関より意性、再変淋の根治総数不可能は高級原法に推らさる限り、慢性には関より意性、再変淋の根治総数不可能は高級原法に推らさる限り、慢性には関する場合に関する場合に対している。 軍人を痛感する。 性困難に轉移する遺憾に對し局所治療の徹底には害人醫師の惜しみなき努力の信息が、一つの一般に対し、一般に対し、

根本的に悲劇を解消せ

限、各種關節炎、生命を領する産褥熱等の危險には根本の解消こそ安心で、と せられよ。根治なき失鱗間に惹起する悲劇、不能、一見性不能、恐るべき臓嫌症は云ふに及ばす初感染に於ては道ちに本劑の使用で確實を再發なき提治を刺症は云ふに及ばす初感染に於ては道ちに本劑の使用で確實を再發なき提治を刺 紫滅に着々質績を見つ、在るが、患者は透徹の批判に患き信念を進がす、慢性の低に本剤を使用、各症淋疾の視点者將に敷土萬を敷へ、放果の着目、淋疾のでは、水腫の性腫、各症淋疾の視光者將に敷土萬を敷へ、放果の着目、淋疾のでき、疾患

大な缺陷である。

驚くべき淋菌殺滅の迅速

と作行するは明白医然とす。前人未被のブルと作行するは明白医然とす。前人未被のブルットがでは、手軽く安全に自宅後期に全然をサンギンの激逐性は患者の自宅使用に全然をしている。

閣根絶例は最大數に有することを付言す。

本剤ケンゴールの主成分プラオンギンが驚い 的殺菌作用を有するは實驗上確認す。臨床也可以可以

本剤の劇期的黄献と信ず。

五瓦入(約十七日量)夢圓八拾錢 瓦入(約三十五日堂)七

呈進代無献文

合名 會社 理店

金國縣店、百貨店に有り 品切は總代理店へ 大黑南海堂·藤田薬房新 井 藥 房·木村藥房

8E Ŧ.

日東製藥合名會社製品 代用薬に御注意を乞ふ

拾

東京市芝區通新町十三番地

電話三田一六八五・一六八六 擬 答 東 京 三 五〇一九番

注意——一號(詹程用)、二號(優怪用)、

瓦入(約五十七日量)拾

(婦人用)あり、御脏文には御朋配をむふ。

表せる確証

正に治療界の革命とす

成つて、ブラオンギン、ケンゴールを得たのは 京吉原遊廊吉原病院長佐藤栄氏の苦心研婚 療法にのみ治淋は期待せられるが、資地的に 見て完璧なる局所築の出現を熟望の折柄前車 助剤たるのは明々白々たる事質であり、局所には、 中に治療界の革命だり。理論に併行せる實際 見ゆる内服薬に於て治淋的効果無く治療師 醫學博士 北 ٨

薬物の変見に努力せられた、圖らすも佐藤榮 果相呼應して殺菌作用、殺達作用共に決定的 果相呼應して殺菌作用、殺達作用共に決定的 系 氏の貴重なる多年の治療経験と學識によつて 解消し是等の障害を治療する作用をすら戦與機能とせる排棄機場では対する危險を貼かし、結ずの決定性は従来の局所側のと称すべし。結ずの決定性は従来の局所側のと称すべし。 世界的局所薬本剤の完成をみ、患者の大福音 したる監唯態嘆の外無し。

て正確に淋漓を根絶せる百数十朔に悲き無然群は別感染急性淋漓者の未翻四日の治療を以明白、一般質力・選挙にして消炎作用の技術の対象を以明白、一般質を実施を表現して消炎作用の技術を表現して消炎を表現して消炎を

及び殺菌作用は、廿年經過の慢性淋患者たり

|客本剤治療を以て始めて一子を得たる例

乗たるは質験上明瞭なり、一 稀有の深達性

適の後は淋患者の本剤使用何れも三週間を用途なるは、 淋光化学語だしき 五ケ年以上經連なるは、 淋光化学語だしき 五ケ年以上經

たり、一、淋菌蛋白と結合せず破壊力強く知

で产州南南大浴燈屋に一壁せる二百數十例を

初めて自宅に於て

淋菌全殺が可能

醫學博士 向 井

叉

以て明瞭。一

治療後絶對再發無きは、

再後せる患者が本制治療を以て淋菌死滅して

ケ年全く再發無き百例に近き事質を以て明されて明ない。 たまのではいる。 より大量に飲酒し鬱鰯に従事せるに今日迄 は、ますない。 おより、これではない。

いす。正に本側が治淋唯一側たるの事質は

指如上の外本朝治療の出 信がよった。

状めんと

し求め得なかつた最理想の局所銀機

淋菌消失例数百を以て質際上の効果また學説を刺ば軟然たる學説に基くは関より迅速なる本側は軟然たる學説に基くは関より迅速なる生態。 まご

醫學博士 松山七五郎

危險の杞憂毫も要無し

級規告(七)下は三味納剤 が戦づた田舎歌手 ひついで番学太夫(右)と お戦づた田舎歌手 に網太夫(右)と常野太夫 ら泥榴だと思く」とこ

時間京地西大門著へ大聲あげて泣ー十四條個で豚の見を買込み、去る一の代表的なもので、

太夫を東京日本郷自宅に訪れると太夫を東京日本人の持つてみる美しい人情日本人の持つてみる美しい人情日本人の持つてみる美しい人情を出すたけでなく、

纛島の水害跡から

が湧き上つて來るのです、如程日本人間有の褒ゆかしい標から概みしめれば、願みしめ

て参りました、あの大猷的へは一昨年やはり組赴に招

水源地の附近でもあるので

東大門署防疫に努む

著は既に七十名を実破してゐる

《人を見たら泥棒と思へ》

城西方」に五名、奈曼族に七名、

明してゐる地方は大平庄(開発縣

すと共に、下拉店を中心とする州 となつた

はるぐ、來城して

二度もだまさる

すつかり澁味を加へた十五代目家元。

語り手は文字太夫とその

の脚壁陣を飾めてゐるが、目下側、の歌客に蜀しては魔里な絵図をな「後跑遊の脚壁陣に砲帽を飾すると「秘鑑・歌響を極め、當局は歌苑」哈道海、瀬景圃、大雅、白城子間「るが、本胎では瀬銭州をほじめ撮都器に去る七月中城より就座で、一て日瀬綿壁砂罐を開館した結果、「の他の貨物の親父みも撃却してる

洲関連第万面、京自総モの他東一般様である。防災費品は新東に於一支里の居住希は栗町を観止し、モ

て日前別陸的議を開館した結果、

の他の貨物の積込みも禁止してる

七十名に達し沿線に防疫陣

名流邦樂舞踊の夕

本社主催・廿九、卅日兩夜京城府民舘で

**朝鮮内に侵入を防ぐ** 

## 質問別が局では本年度度界を以一個影北の一ヶ所は未定であるが、一利した神士と楽女の怪鬼話事件 節内に公立青年訓練所十ケ所を 新設の青年訓練所 ー箇所ご决定 本府學務局で詮衡

### 即中のは、左の如く決定した、本 設すべく、各道の申請に基言能 前州に政権される複様である

漢江の失踪事件

出層天安、全用節水、貯留能山、年度上り杣助支給する

能もあがらす身元重金祭靴らない。の男と共に原も費はずはると「京 でに乾めてゐるが非五日似まで死。これ、行動人の一人に京城にはと 投身心中とみて龍山獣では極力機。これ、行動人の一人に京城にはと では、一人に京城にはと

ると整数らしいので来ましたとい 部イナシン

握ってある大切な五国を受取って 洋股を買つてやらう」といつて、顕まで来て「その股宏ちや歌目だ に就機させてやらう」と機能の立 それは第の形だ、暗が赤十字を ので、これまでのことを話した、 三十歳位の男が親切に事間を聞く 一吹夾段



『こぼれ梅娘お光』の一場面 岩柳吉三郎と岩柳吉三津

に応言的館に至する製炭を貢にせ、総の指治から資の保予費力を報ふして同野の士を完益に解解し産すさんとして健言則し、浜街の頭部「関りの愛想つかしを聴べたて、関、城の状の観察状を飾ら版大総単とる第三八九三戰メクシーが避び越(つたもので、そつこん惨れた資に「柳』と配置継察元の名コンビは京る第三八九三戰メクシーが避び越(つたもので、そつこん惨れた資に「柳』と配置継察元の名コンビは京 発取部山メクシー湿透纖の運動す 対五日午後三原京策光版門一〇俳 に磨きのがせないところである こが自戦時で走つてゐるのを、

第二日(三十日)の「神路山色薬」

日 初」と記述は家元の名コンピは京田 人とゝもに帰滅するが、「柳雄若に 利」と記述は家元の名コンピは京田 と記述は家元の名コンピは京田 おいまい

津村タンス店用本(2)二大七〇番

代金川替でも銀送り申上げます。

この伯舞師の「こぼれ府娘お光」

タンスに津村

テスと

追ひ越さんとして

自轉車少年を轢く

不埓な自動車運轉手

た、街台は自下営製稿院で手首中 こあるが、出血多量のため危害 防疫講演と映畵 と言つた節 

京城の人とはすでに創年系領の時 事だらう、三昧楽三郎のうまさは して同好の士を完全に解解し強す

年 願航 空 兵兵

東京他姿が原文を受けれています。

旅館開業

安東井

安東五番迎一丁目

脱税も暴露し 石福事件は送局 專務、支配人ら六名

AC会社大会の金塊電線管部的は でも十六日級単層によりに配った。 一見到法主任、金銭電加の子で協議した京城石殿園美館北 軍取副べ中の職、十四日一段落と地会館、2000年第一次の大会館・2000年第一次の大会館・2000年第一次の大会の大会館・2000年第一次の大会の大会によりに配った。 11700年1170 台計六名の金塊皆機容疑事性は

直

ク

L

3

鉛筆

館は数は左記の製造店で削取中で

魔文 農文 農中 青

市野干

·校

會員券發賣所

すから早く側は求め下さい

程を狙き怪盗が刑害った、去る五【二川」当は】【川神心塩四の常銭 月以來仁川神能域内の搬天、天朝 お賽錢を釣る

性質金町三丁目永樂町通り 田病

歳院

淼 京日案内

本二一六六 東光面単株式會社 監書被帶本人來源の単一整保証人 を案明一ノ五 建業明一ノ五

交換・主名人用 瓞

留・中、収荷的地域と計画 は大きなが、日本人、最初が良し 大きの立一日本人、最初が良し 大きの立一日本人、最初が良し 大きので、日本人、最初が良し 大きので、日本人、最初が良い で、食品が出せられる物様は名地百 中食材のローヤー里 二・四 中食材がロード地域と 子 有光系少先方理解有

京城日報歴告部止望む群事文通乞

長谷川町、武田産婦人科博院の八月下旬より一ヶ月間 特员全队 武田産婦人科病院内の一ヶ月間

○事務員順利に經驗ある的

第十師関府校合同官舍

風のエピが擦る、エピはスズキ、 を中心の漁場では、年十六、七萬

井に乗つて漁に

ニベのシーズンアップとなった十一出かけたが、今

日でも強れるから、この源天村で 他の生計をこのエビ語にまかなよ

世長された、計

住んでゐるが、この人の話によ 直登記記録氏は以明四回面の面

一部の幸 一折けばまだく 強夫村

来、長さ二百米春の祖が表して、 こ、に無数の健が腰息してあるか のである、つひ・月宮町で発達が から渡つて米に地中がこの招でで 一百ばかりの襲を機つて騒つて かった。十日程前には襲すから

て、村の若者二、三人が沼に小舟 かつた村の随夫達も惜し紙を出し

午後二時五十分大邱教養山行第三

あるが、この猛者の来興に京城で

塞班

は廿九日午後一時から鮮悪事

けぶの天氣

京签線南省観、清道間を二十四日 「列野が遊行中、朝鮮人男が飛び

老人の鐵道自殺

落民の光景=佐々木記、岩本描く

選此なので物凄い張り切りやうで

十七名の総勢で廿七日午後三時若し遂げた門懿軍が井ノ川配督以下

球職とし興味を思いてゐる (料金

五十錢均一、軍人學生三十錢)

電話事務員募る

二十九日と三十日

京城では三天試合

ら河本部長も急じ立骨の上、茲に 氏が普頭とり、内河面の駐在街か 々を行ふとになった、組合員の宗 を動員して寄せ網による々開始り 台班その翌日医達かこの村の漁夫 リで招地だけによく太つてゐる、 で尺二、三寸、大物は二尺タップ すがの強夫達も驚いた、小さい所

とて護がみるわく、二三時間で「重郡大原園鑑済材先士さんでらとを入れて鍋を投げたのである、果 | 込み自我した、取調べの結果、清

量エピを描へて

**あるのである** 

あるエピの大綱 して真然三間も

匹の鯉が飛び込んでゐたので、さの上へ投げた一綱に、たんと十一 全を用してゐる

り水源地に磁車な防疫陣を張り英 病菌が流れ込んでは一大事とばか

からの陸雨でまたくし使用の見

四に重り飛銭四十億国をつりと

事になった、こゝは水源地があり、ついて破死してゐたが、廿四日の ケ里、七百七十月、四干五十七人一京城飛行場は廿五日主で使用歌い となつてをり、廿六日から使用 卅日まで休止 廿四日來の雨で

金属都市地流野球大震に開業をな一野中だが、秋のシーズンを呼ぶ続

强力純ヴィタミンB製劑 (専責特許)

一般脚氮症、乳兒脚氣、乳兒綠便、 惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養 粉末・錠劑・液劑・注射液 本社 東京 京橋 ラチウム製薬株式會社 出張所 京都・福岡・奉天

各地築店にて販賣す

告□で、ほじめは極力犯行を

てゐたが、廿五日包み切れて

があり最野神宮が野坂中、廿三日 宮、昭布神社の蹇錫昭を狙ら径流 午後八時半晩餐錢箱から金を釣上

> 院長ノ往路へ可成 入院随意

(三共物単株) **日本間のため** 東新丁目 塩井 醫院

本ピル三階の 本ピル三階の 本ピル三階のは

日も、名残は惜しき草の蘇ー世と見る時は日永の春のけるの時といも夢、かなしいも夢ののいちかののいちかののいちかののいちかののいいもかのいいもかのと言へはい

+

**−」更適は脳の弱い意実を浮かっだから、寒っぽらないは一の次にしさんといふのは成し足が悪いらして火麦子らやんらしい云の分れた一个。頭針に来てゐるんだつてれ。 と動から住人でそんだってよっま** い云ひ分わえ。今、簡単に來てゐるんだつてわ。」と割から住んでるんだつてわ。妹 どんなもんだららわえ……」 して、見合といふか一度逢つたら い様子だつ てこと を聞いたんだ

本紙一萬艘記念懸5. 少說二等當選

**蒸棄斯上演映器** 

つたことなんだけど、宗集つてい「壁に考べものだからわえ」―。」「それから、これも但文さんに彫」ない種のものだとすれば、これは が、家舞りといへばそれが変態り「仕事など助けてくれるちゃありま」母さんだの妹さんだのを叱咤に四 なのよ。若し縁に行くことが出来、せんかー

「ならいへほさうだららけど だったら、結婚した場合には家の さん――。優しい事だての娘さんの味意次第ですわ、お母 「伯父さんにさういつて、女ぼか

るのださうだから しの遊だからといふのできそのお

(イ) 差点で別れて(2)せ | 雨がれせかれて

(イ)秋風ででよって)心で

家庭講座

理どののお腹の数

同八時四五分(東)小県

小変数の

田開設の一考報 相の島 相の島 4 同十時三〇六 小田 相の島 4 一日の島 4 小田 1 日本日 1 日

**恰度その時村中は今にも洪水に吞もきかず風の中をかけ出してゐた** 

同一〇分

実いた方が多少良くなります。 に三一角と引いてから、七五歩と もんだ、これがそもく 一の意原で とこ一角と引いてから、七五歩と も

遊びないよー

何文さんだつて、右任さんにそれ「4人のお母さんや魅か哀嬢にずつ」でも、若しさうだとしても、そしてみたいものだねえ!」ひないと思ひますわ。で、なきや「つたことなんだけど、家童つてい「鯉に称べるのだからわえ ―・2」 |―。 悪に角、その人達と ―。 現に角、その人達と一度達つ

混お すゝめに なりやしませんわ

しと、自分にも端の解らない

けてはつとしたやうにつした霊 家に入るやうな方――』と云ひか

「それや、きつと久美子にだつて

た。 五日招祭したら どうだららわえ つしやいといへば、惑んで來るに

「それに、短は、今は零落してる

一、序曲「オウシブンの除設」

同九時(東)連續講談 の権(ハ)お互にの権(ハ)お互にの権(ハ)お互にの権(ハ)お互にの権(ロ)四條

東京 は 佐田 米子 関田 米子 関田 米子 関田 米子 関田 米子 関田 米子 カール コード 音楽 子供と母の

ボンボコボンはウ ボンポコポンはワ

のあたり良介の危険を見た母は歌 が関しいあらしの中を軸け廻り今 歩で浪に吞まれさうになつた息 数の気絶した夜を抱いて家に

の喚き呼ぶ中を良介の跡を遊びつく父やさみ子をおいたまゝ、村人 いしなければならなかつたが、 のた。父も水防蟹の一人として西 まれるうになって大騒ぎを厳じて

阪東壽三郎外

1月※横八崎※